

平成 17 年度（第 49 回）
岩手県教育研究発表会発表資料

家庭 / 技術・家庭 / 工業

高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における
子どもとのかかわり方の理解を深める
学習展開に関する研究

- 課題解決的な学習を取り入れた教材の工夫と活用を通して -

平成 18 年 1 月 12 日
長期 研 修 生
所属校 岩手県立一関第一高等学校
氏 名 川 地 里 美

目 次

研究目的	1
研究仮説	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容と方法	1
2 授業実践の対象	1
研究結果の分析と考察	2
1 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する基本構想	2
(1) 子どもとのかかわり方の理解を深めることについての基本的な考え方	2
(2) 子どもとのかかわり方の理解を深めるために課題解決的な学習を取り入れた教材	3
(3) 課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開	3
(4) 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開についての基本構想図	4
2 基本構想に基づく手だての試案	5
(1) 手だての試案の概要	5
(2) 指導の展開	5
(3) 検証計画	5
3 基本構想に基づく教材の内容	6
(1) 実際の家庭や社会生活の場面カード	6
(2) 子どもとのかかわり方体験教材	7
(3) 学習シート	8
(4) 子育て支援リンク集	9
4 授業実践及び実践結果の分析と考察	10
(1) 授業実践の概要	10
(2) 実践結果の分析と考察	13
5 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する研究のまとめ	17
(1) 成果	17
(2) 課題	17
研究のまとめと今後の課題	17
1 研究のまとめ	17
2 今後の課題	18

<おわりに>

【引用文献】

【参考文献】

【補充資料】

研究目的

高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」の学習においては、子どもとのかかわり方の理解を深めることをねらいとしている。子どもとのかかわり方の理解を深めるためには、家庭や社会生活において子どもを受け止めて対応していこうとすることが重要である。

しかし、生徒にとっては少子化によって身近に子どもとかわる機会が減少し、子どもとのかかわり方を十分に考えることができない状況がみられる。一方、生徒に子どもとのかかわり方を体験させるための保育園実習は、子どもの生活における極めて限定された場面での触れ合いにとどまり、楽しさや喜びを得ることに重点が置かれがちであった。

このような状況を改善するためには、保育園実習を学習の導入に位置付けて生徒自身が子どもとどのようにかわることができるかを把握させ、実際の家庭や社会生活の場面を設定した教材を工夫し、子どもの体調不良や不快を表す状況などを含めた課題に対してどのように対応したらよいか考えさせ表現させる必要がある。

そこで、この研究は高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」において、課題解決的な学習を取り入れた教材の工夫を行い、その活用の在り方を明らかにすることで、子どもとのかかわり方の理解を深める学習指導の改善に役立てようとするものである。

研究仮説

高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」において、実際の家庭や社会生活の場面を設定し、子どもへの対応を考え表現させる課題解決的な学習を取り入れた教材を工夫し活用すれば、生徒は子どもとのかかわり方の理解を深めることができるであろう。

研究の内容と方法

1 研究の内容と方法

- (1) 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する基本構想の立案（文献法）

子どもとのかかわり方の理解を深めることの基本的な考えをまとめ、学習展開についての基本構想を立案する。

- (2) 基本構想に基づく学習展開の試案の作成（文献法）

基本構想に基づいて、課題解決的な学習を取り入れた教材を用いた学習展開の試案を作成する。

- (3) 授業実践及び実践結果の分析と考察（授業実践、質問紙法）

学習展開の試案に基づいて、授業実践を行う。その結果をもとに、子どもとのかかわり方の理解の状況と、作成した教材の有用性について分析と考察を行う。

- (4) 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する研究のまとめ

実践結果の分析と考察に基づいて、高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する研究についてまとめる。

2 授業実践の対象

岩手県立一関第一高等学校理数科 第1学年1学級（男子31名 女子10名 計41名）

研究結果の分析と考察

1 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する基本構想

(1) 子どもとのかかわり方の理解を深めることについての基本的な考え方

ア 子どもとのかかわり方の理解を深める意義

「乳幼児の発達と保育・福祉」における心身の発達と生活の内容では、子どもとは、誕生から乳幼児までを扱っている。それに対し、家庭や社会における保育・福祉の内容では、年齢による定義はなく、保育や社会的支援を必要とする存在を子どもとしている。子どもとのかかわり方に関して触れている文献は多いものの（例えば、牧野,2002）、明確な定義がなされているものはない。そこで、本研究における「子どもとのかかわり方」の定義を学習指導要領と文献調査に基づき、【表1】のように定義する。

【表1】乳幼児の発達と保育・福祉の学習における子どもとのかかわり方

子どもとのかかわり方	保育の在り方や社会的支援の利用、接し方などの子どもへの対応の仕方
------------	----------------------------------

子どもとのかかわり方の理解を深めることは、生徒が家庭や社会生活で子どもの発達段階と個性に応じて保育や社会的支援を実践するために必要である。理由は二つある。一つは、高校生は、自立が間近に迫っている時期であり、子どもとのかかわり方を学ぶ最後の機会であるが、子どもとかかわる機会が少なく学習の必要性をあまり感じていないからである。もう一つは、学習指導要領では乳幼児との触れ合いや交流等の実践的な活動を取り入れることとされているものの、実際の学習指導は、子どもとかかわることの楽しみや喜びを得ることにとどまりがちだからである。学習指導要領のねらいである「保育の在り方や保育態度、子育て支援策、子どもが育つ環境としての社会の役割・福祉について考えさせる」に十分に至っていない。そこで、実際の家庭や社会生活での子どもへの対応を考え、表現させる学習指導が子どもとのかかわり方の理解を深めるためには不可欠である。

イ 子どもとのかかわり方の理解を深める意味

本研究における子どもとのかかわり方の理解を深めるとは、「子どもの状況を受け止め、対応を考え、表情、行動、ことばかけで表現できる状態」ととらえる。これは、保育学（例えば、鯨岡,2004）等の文献調査に基づいて、子どもとのかかわり方に関して高校生ができる基準を考察し、とらえ直したものである。

子どもとのかかわり方の理解を深めるには、三つの段階があると考えられる。第一段階は、より実際に近い子どもの状況を体験させることで、生徒は受容的かかわりを把握する。第二段階は、子どもの状況に対し、発達段階や個性に応じた対応を考えさせることで、生徒は共感的かかわりを把握する。第三段階は、子どもへの接し方を表現させることで、生徒は応答的かかわりを把握する。この段階の一つ一つは、構成要素としてとらえられる。このような三つの構成要素を身に付けることにより、子どもとのかかわり方の理解が深まると考えられる。それぞれの意味と理解の深まりを検証する観点を【表2】に示す。

【表2】子どもとのかかわり方の理解を深める構成要素の意味と検証の観点

構成要素	意味	検証の観点
受容的かかわり	子どもの発達段階と個性などありのままの状況を受け止める	子どもの発達段階と個性などありのままの状況を受け止めることができる
共感的かかわり	子どもの感情表現や行動などの内面の意味をとらえる	子どもの感情表現や行動などの内面の意味をとらえることができる
応答的かかわり	表情、行動、ことばかけで表現する	表情、行動、ことばかけで表現できる

(2) 子どもとのかかわり方の理解を深めるために課題解決的な学習を取り入れた教材

高等学校家庭科の学習指導では、生徒の実態に合わせた教材を用いて、実践的・体験的な学習を通して、家庭生活を営むために必要な知識や技術を習得させることを重視している。武藤（1998）は、追究の過程としての実習先行型授業について「生徒同士が討論をしながら、生徒自身に探索・探究させる方法を設定することが望まれよう」⁽¹⁾と述べている。さらに、武藤（2000）は、「子どもの目には見えにくい生活問題を発見させ、その原因や解決への糸口を科学的知識や技術の認識や習得によって生活課題や生活文化に関わらせて、学びの意味を味わわせていくことのできる教材を取り上げたい。」⁽²⁾と述べている。そして、中間（2004）は、課題解決型学習について「個人やグループで、問題解決の学習方法を中心にさまざまな学習方法を用いて、主体的に問題解決を行い、さまざまな学習メディアを用いて発表し、交流し、相互学習を行う学習方法である。校内だけでなく、家庭や地域での実践を伴う学習でもある。」⁽³⁾と述べている。これらのことを参考にしながら、高等学校家庭科の学習指導において、教師が学習課題を設定し、課題解決について主体的に考え、表現させる課題解決的な学習を取り入れた教材の定義を【表3】のようにまとめた。

【表3】課題解決的な学習を取り入れた教材の定義

定義	生活課題に即した学習課題を設定し、生徒が体験的な学習によって習得した知識や技術を基に、生活課題について主体的に考え、表現させることができる教材
----	---

課題解決的な学習には、生活課題が具体的にわかる教材が必要である。そのためには、子どもとの生活の実際の場面設定、地域資源を生かした直接体験と模擬体験、課題を解決するための生徒同士の討論が重要となる。以上から、子どもとのかかわり方の理解を深めるために、課題解決的な学習を取り入れた教材を工夫する視点を4つにまとめ、これらに基づき作成する「子どもとのかかわり方学習」教材セットの概要との関連を【表4】に示す。

【表4】課題解決的な学習を取り入れた教材を工夫する視点と教材セットの概要との関連

教材を工夫する視点	教材セットの概要との関連
実際の家庭や社会生活の場面がわかる	実際の家庭や社会生活の場面カード
体験的な学習と関連付け、子どもとのかかわり方を考えたり、表現したりすることができる	子どもとのかかわり方体験教材
意見や考えたことを生徒同士がやりとりしながら、客観的・肯定的な思考で課題を解決する学習を進めることができる	学習シート
実生活に即した解決の手段を用いて課題を解決する学習を進めることができる	子育て支援リンク集

(3) 課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開

家庭科では、課題解決的な学習による学習過程を持つ多くの授業実践がみられる。その一般的な学習過程は、課題の把握、課題の究明、課題の解決、思考、整理である（例えば、山梨県中学校技術・家庭科研究会,1994）。武藤（2000）は、学習指導過程において、学習内容のまとまりの中に課題解決的な学習を位置付けることが重要であるとしている。少なくとも一つの単元の学習内容を見通し、課題解決的な学習教材をどのように取り入れていくのかを工夫することが必要になる。つまり、課題解決的な学習を取り入れた教材を活用することは、生徒に子どもとの生活を予測させたり、子どもへの対応を考え、表現させたりすることを教師が意図的に仕組むことになる。課題解決的な学習過程を踏まえて、学習の進め方を考察すると、「課題把握」、「課題追求」、

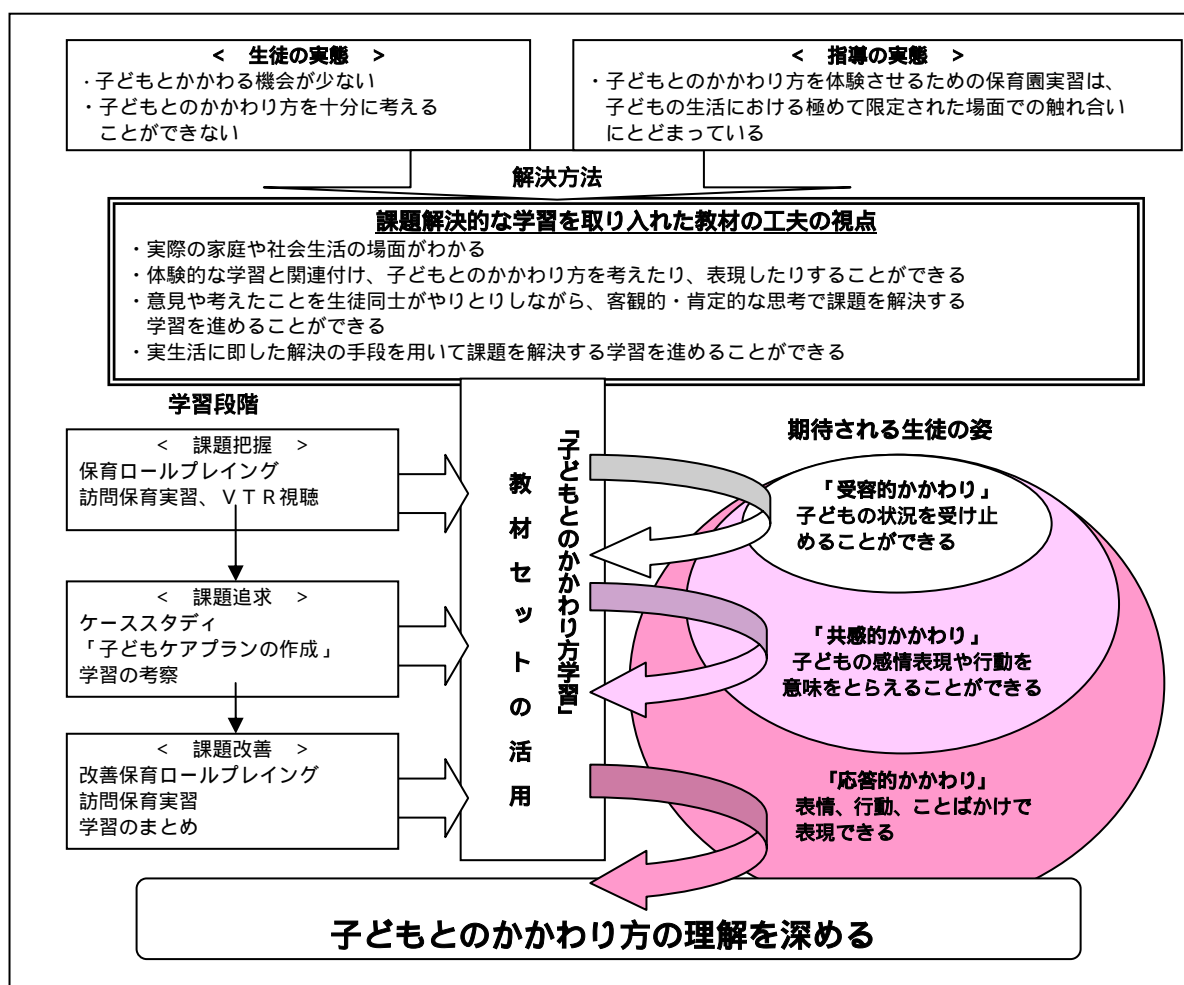
「課題改善」の三段階に集約できる。前者の二つの名称は、武藤（2000）から引用した。最後の段階は、学習のまとめとして子どもへの対応を工夫し、接し方を表現させる段階であり、更なる実生活での実践意欲につなげる段階ととらえ、「課題改善」とした。「課題把握」では、保育ロールプレイング、訪問保育実習を行い、受容的かかわりの把握をねらいとする。「課題追求」では、ケーススタディを行い、共感的かかわりの把握をねらいとする。「課題改善」では、課題把握段階と同様の学習活動を再び行い、子どもへのよりよい対応の仕方を工夫し、表現させることで応答的かかわりの把握をねらいとする。本研究の学習段階と教材を活用した学習活動及び構成要素との関連を【表5】に示す。

【表5】学習段階と教材を活用した学習活動及び構成要素との関連

学習段階	教材を活用した学習活動	構成要素（表2参照）
課題把握	保育ロールプレイング、訪問保育実習、VTR視聴	受容的かかわり
課題追求	ケーススタディ「子どもケアプラン」の作成、学習の考察	共感的かかわり
課題改善	改善保育ロールプレイング、訪問保育実習、学習のまとめ	応答的かかわり

(4) 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開についての基本構想図

これまで述べてきた基本的な考え方に基ついて、子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開についての基本構想図を【図1】に示す。



【図1】高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開についての基本構想図

2 基本構想に基づく手だての試案

(1) 手だての試案の概要

ア 指導目標

実際の家庭や社会生活の場面を設定し、子どもへの対応を考え表現させる課題解決的な学習を取り入れた教材の工夫と活用を通して、子どもとのかかわり方の理解を深めさせる。

イ 指導計画の位置付け

高等学校家庭科家庭基礎「人の一生と家族・福祉」の「乳幼児の発達と保育・福祉」の学習として位置付ける。

(2) 指導の展開

基本構想に基づく手だての試案を以下の【表6】に示す(□は構成要素を表す)。なお、本研究では、子どもとのかかわり方の理解の状況について、子どもへの接し方の変容によって検証をすることから、課題改善段階でも訪問保育実習を計画する。

【表6】子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開についての手だての試案

段階	時	学 習 活 動	課題解決的な学習を取り入れた教材の活用方法
課題把握 受容的かかわり	1	保育ロール プレイング VTR視聴	・実際の家庭や社会生活の場面から子どもとの生活を予想して、保育ロールプレイングのシナリオを作成する ・子どもとかわる側の状況を把握することができる
	2		
	3	第1回訪問保育実習	・保育実習の活動をまとめ、子どもへの接し方の確認をする ・子どもと直接かわることで、子どもへのかかわり方について課題意識をもつことができる
	4		
課題追求 共感的かかわり	5	ケーススタディ 「子どもケアプラン の作成」 学習の考察	・子どもへの対応についての問題点や改善策を考え、まとめる ・子どもの状況に応じた対応の仕方について調べる ・家族・地域・社会の3つの着眼点から子どもの状況に応じた対応の仕方を話し合い、まとめる
	6		
	7		
課題改善 応答的かかわり	8	改善保育 ロールプレイング 発表と相互評価	・子どもの立場に立った保育態度を考える ・子どもへのよりよい対応の仕方を工夫し、表現する
	9		
	10	第2回訪問保育実習 学習のまとめ	・子どもの気持ちや行動を受けとめ、対応を考え、よりよい接し方を表現する ・保育実習の活動をまとめ、子どもへの接し方の確認をする
	11		

(3) 検証計画

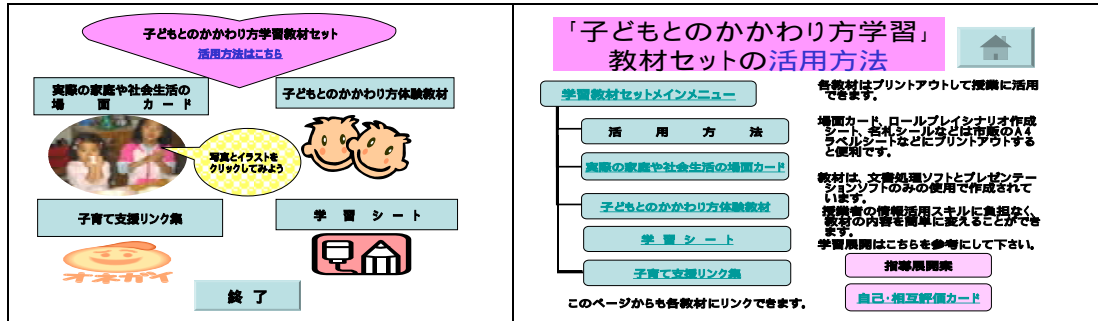
【表7】に、手だての試案に基づいた授業実践によって、高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開の妥当性を確かめるための検証計画の概要を示す。

【表7】検証計画の概要

検証項目	検 証 内 容	検証方法	処理・解釈の方法
理解の状況	子どもとのかかわり方の理解の深まりに関する構成要素 ・受容的かかわり ・共感的かかわり ・応答的かかわり (表2の検証の観点に基づき検証)	子どもへの接し方 チェック項目の記録 質問紙法 学習シート、自己評価カードの記述	訪問保育実習後に記録させ、1回目と2回目の表情・行動・ことばかけの変容を分析、考察する 学習の事前と事後に実施し、意識の変容を分析、考察する 学習シート、自己評価カードの記録により分析、考察する
教材の有用性	・教材を活用した学習に関する意識 ・教材の有用性に関する意識	質問紙法	手だてに関する意識調査を事後に調査し、考察する

3 基本構想に基づく教材の内容

「子どもとのかかわり方学習」教材セットは、デジタルの状態でのプレゼンテーションソフトのファイルにまとめており、子どもとのかかわり方を考え表現させる学習で活用するものである。この教材セットは文書作成ソフトとプレゼンテーションソフトのみで作成しており、情報活用スキルに負担なく教材の内容を編集することができるようにした。その構成について【図2】に示す。



【図2】「子どもとのかかわり方学習」教材セットの構成

それぞれの教材には、「使い方」、「かかわり方」、「手順」、「使用する教材」、「準備する道具」の項目で、学習展開における活用の仕方をわかりやすくする説明をつけた。以下に各教材の作成と学習での活用のねらいを示す。

(1) 実際の家庭や社会生活の場面カード

実際の家庭や社会生活の場面カードは、生徒の子どもとのかかわりを十分に考えることができない状況に対して、子どもとのお生活の多様な場面が分かることをねらいとした。子どもの発達段階、場面、状況、登場人物、セリフ（1コマ目）という構成で、点線にそって切りとり、保育ロールプレイングシナリオ作成シート、改善保育ロールプレイング学習シートに貼り付けて、シナリオ作成に活用できるようにした。場面カードの一部を【図3】に示す。

子どもが存在する		実際の家庭や社会生活の場面カード	
使い方	点線にそって切りとり、保育ロールプレイング教材(シナリオ作成シート、改善保育RP学習シート)に貼ります。		
かかわり方	登場人物・子どもの名前・セリフなどシナリオの作成から、子どもとのお生活を模擬体験できます。		
番号	発達段階	場面	状況()登場人物:「セリフ……」
1	乳児期	出産後の子育て	状況(妊娠中の妻が、出産後の子育てと仕事の両立に悩んでいる) 妻:「初めての子もだし、1歳ぐらいまでは自分で育てたいな。でも、長期間休んだら職場に迷惑がかかるかしら?」
3	乳児期	おむつ交換	状況(赤ちゃんが、いきんで真っ赤な顔になり、おならをしている) 母:「お父さん、揚げ物の途中で手が離せないから、子のおむつをみてちょうだい」
5	乳児期	育児不安	状況(突然の転勤、帰宅時間が遅い父と家庭で子育てに専念している母の生活) 母:「子どもと家でいつも二人っきり、環境が変わって子は、いつも泣いてばかり、あなたもう少し早く帰ってこれない!?」
7	幼児期	買い物	状況(ショッピングセンターで子どもがだだをこねている) 子ども:「買って、買ってえー、これ全部欲しいよお」
10	幼児期	幼児虐待	状況(冬のある朝、ベランダで子どもが泣いている。隣人たちが同じ状況を見かけるようになって今日で5日目である) 子ども:「おかあさん、おかあさん」
13	児童期	友だちとのけんか	状況(友だちとのけんかに負けて、泣いている) 子ども:「ひくひく、しくしく」
15	児童期	親子レク	状況(平日の午後、小学校で親子レクを行うことになった。母は日中寝たきりのおばあちゃんの介護をしている) 子ども:「お母さん、親子レクに参加できるよね」

【図3】 実際の家庭や社会生活の場面カード(一部)

(2) 子どもとのかかわり方体験教材

子どもとのかかわり方体験教材は、子どもとの生活を直接体験、模擬体験したことを基に子どもとのかかわり方を把握することをねらいとした。その中の保育ロールプレイングシナリオ作成シートは、実際の家庭や社会生活の場面カードを用いて、子どもとの生活を模擬体験させることをねらいとした。シナリオ部分と登場人物ごとの気持ち（他者理解）の部分には、子どもケアプラン学習シート・評価シートに貼り付けてケーススタディに活用できるように工夫した。保育ロールプレイングシナリオ作成シートの一部を【図4】に示す。

<学習1> 保育ロールプレイングシナリオ作成

手順 子どもが存在する実際の家庭や社会生活の場面カードを用いて、シナリオを完成させます。
1コマ目に続けて登場人物・セリフを考え、6コマ以上続けます。
親は、どんな思いで子どもに名付けるのでしょうか、登場する子どもの名前も考えましょう。

使用する教材 実際の家庭や社会生活の場面カード 準備する道具 筆記用具、はさみ(のり)

番号	発達段階	場面
注意：ここには実際の家庭や社会生活の場面カードの乳児期から一つ選び、状況と登場人物・セリフを切りとって貼り付けます。		
：「		
：「		

<学習2> 保育ロールプレイング

手順 配役を換えながら、すべての登場人物のセリフを言ってみましょう。
登場人物それぞれの立場で感じたことをまとめます。

	保育ロールプレイングで感じたこと
子どもの気持ち	
の気持ち	
の気持ち	

注意：「完成したシナリオ」は子どもケアプラン学習シートに、「保育ロールプレイングで感じたことは、改善保育ロールプレイング学習シートに、それぞれ点線にそって切り取り、貼って使います。

【図4】保育ロールプレイングシナリオ作成シート（一部）

子どもとのかかわり方メモブックと訪問保育実習名札シールは、訪問保育実習で活用する。子どもとのかかわり方メモブック【図5】は、折りたたんで切り込みを入れることコンパクトに携帯できる。保育実習の活動を記録することができ、子どもとのかかわり方の状況の把握をねらいとした。

〔子どもとのかかわり方メモブック〕
第 回 訪問保育実習の記録
平成 年 月 日() 校時


年 組 番 氏名

*この用紙は8つに折って点線に切り込みを入れると小さな本になります

子どもとかわるとき服装のポイント
動きやすく、清潔であること
つめは短く、長い髪は束ねる
靴は、はき慣れたもの
ポケットティッシュ
ハンカチ・ミニタオル(自分用)
注：子どもの手は、園に用意されているものでふいてあげましょう。




2 子ども遊びと生活の様子

実習のねらいにそって記録欄を編集できる
例：園長講話「子どもとのかかわり方」記録、保育実習の感想等



【図5】子どもとのかかわり方メモブック（一部）

訪問保育実習名札シール【図6】は、子どもとの距離を近づけることをねらいとした。

<p>使い方 名札のモチーフの色を園児の名札とおそろいにして、市販のタックシールまたはA4ラベルシートに印刷します。</p> <p>かかわり方 生徒と園児がお互いの名前を呼び合いながらかかわることで、子どもとの距離を近づけることができます。</p>	
<p>ことりさんバージョン</p> 	<p>くまさんバージョン</p> 

【図6】訪問保育実習名札シール（一部）

(3) 学習シート

子どもケアプラン学習シート、視聴覚学習シートは、記録部分をラベル化し、自分の意見や考えを記入して、他者とやりとりしながら話し合いが進められることをねらいとした。子どもケアプラン評価シート、改善保育ロールプレイング学習シートは、他の教材のラベル部分を貼りつけながら、客観的・肯定的な思考で課題を解決することができる。【図7】に子どもケアプラン学習シート、次頁【図8】に子どもケアプラン評価シート、【図9】に改善保育ロールプレイング学習シートを示す。

<学習3> 子どもケアプランの作成

手順 保育ロールプレイングシナリオ作成シートでつくったシナリオを用いて、子どもケアプランを作成します。保育ロールプレイングのシナリオから、子どもへの対応について、問題点と改善策を考えましょう。班のメンバー同士で意見や考えをやりとりできない場合は、思いついたことをラベルに書きだしていくことから始めてみましょう。

使用する教材 保育ロールプレイングシナリオ作成シート、子どもケアプラン評価シート
子育て支援リンク集

準備する道具 筆記用具、はさみ(のり)、教科書、資料集、家庭科学習ノート

番号	5	発達段階	乳児期	場面	育児不安
<p>状況(突然の転勤、帰宅時間が遅い父と家庭で子育てに専念している母の生活)</p> <p>母:「子どもと家でいつも二人っきり、環境が変わって〇子は、いつも泣いてばかり、あなたもう少し早く帰ってこれないの!？」</p> <p>父:「ただいま〜。」</p> <p>母:「あなたもう少し早く帰ってこれないの!？」</p> <p>おじいちゃん:「……。(沈黙)」</p> <p>ゆうき(弟):「ワアーン!!!」</p> <p>:「</p> <p>:「</p>					
<p>子どもへの対応について、問題点または改善策をラベルに書き出しましょう</p>					
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
お母さんが育児のいろいろせきめになっていること。	お父さんが仕事から早く帰って来てくれないこと。	子供がすぐ泣いたり、			
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策

【図7】子どもケアプラン学習シート（一部）

家庭基礎「乳幼児の発達と保育・福祉」学習シート【子どもケアプラン学習シート】

＜学習4＞子どもケアプランの評価 子どもの発達段階 乳児期・幼児期（前期）

手順 各自が書き出したラベルを切り取り、グループで評価シートに並べて、子どもケアプランを完成させます。

使用する教材 子どもケアプラン学習シート、子育てリンク教材

準備する道具 筆記用具、はさみ（のり）、教科書、資料集、家庭学習ノート

年	5
班員の氏名	

	家族の能力	隣り近所（職場）の理解と協力	社会的支援の利用
実行 容易性 高	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
	問題点 or 改善策 お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。	問題点 or 改善策 子供が泣いていたら大人が泣いてあげる。	問題点 or 改善策 親を泣かせるような言葉は使わないで、優しく話を聞いてあげる。
	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
実行 容易性 低	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
	問題点 or 改善策 お母さんが育児のやりかたを悩んでいること。	問題点 or 改善策 近所の人や親戚に少しづつ情報を聞いてお話を聞いてみる。	問題点 or 改善策 児童相談所と相談してみる。
教師のコメントと評価 母親の情報の状況も父親が聞いて受けとめる良い姿勢が、本来的にそのとおりです。			

【図8】子どもケアプラン評価シート

家庭基礎「乳幼児の発達と保育・福祉」学習シート【改善保育ロールプレイング学習シート】

1年 年 組 (男) 氏名

＜学習1＞ 改善保育ロールプレイングシナリオ作成 子どもへのよりよい対応の仕方を見える

手順 子どもが存在する実際の家庭や社会生活の場面カードを用いて、シナリオを作成させます。

＜学習1・2＞の保育ロールプレイングに登場する子どもの状況に対して、どのような対応をすればよいでしょうか。＜学習3＞の改善策をもとに、1コマ目に関して登場人物・セリフを考え、6コマ以上続けさせます。

使用する教材 実際の家庭や社会生活の場面カード、改善保育ロールプレイングシナリオ作成シート、子どもケアプラン学習シート、子どもケアプラン評価シート

準備する道具 筆記用具、はさみ（のり）

番号	発達段階	乳児期	場面	出産後の子育て
----	------	-----	----	---------

注意：状況（絵の中の事や、出席後の子育てと仕事の両立に悩んでいる）

例：「初めての子どもだし、1歳くらいまでは自分で育てたいな。でも、長期休暇なら職場に迷惑がかかるから？」

改善保育RP幼児期

父：「子供が生まれたら、お金の問題とかは前回は僕でいいから前向きに頑張るから。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、お金の問題は前回は僕でいいから前向きに頑張るから。」

母：「子供が生まれたら、お金の問題とかは前回は僕でいいから前向きに頑張るから。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

父：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

母：「お母さん、仕事も大事だけど、子供も大事にしたいな。」

番号	14	発達段階	児童期	場面	食事時間のゲーム
----	----	------	-----	----	----------

注意：ここでは実際の家庭や社会生活の場面カードを用いて、シナリオを作成させます。

例：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

改善保育RP幼児期

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

子供：「お母さん、仕事から帰って来てくれないこと。」

母：「お母さんが仕事から帰って来てくれないこと。」

【図9】改善保育ロールプレイング学習シート

(4) 子育て支援リンク集

学習課題の解決にあたって、実生活に即した手段として身近な地域の子育て支援関係機関のWeb情報を活用させることをねらいとした。Webページの情報には信憑性に欠ける情報もあることから、岩手県保健福祉部「いわての子育てQ&A」「児童家庭課すくすくネット」、一関地方振興局「子育て支援情報」、一関市「市民生活ガイド」からリンクの承諾を得て、教材化した。

4 授業実践及び実践結果の分析と考察

(1) 授業実践の概要

- ア 対 象 岩手県立一関第一高等学校 第1学年理数科 41名(男子31名女子10名)
- イ 実 施 期 間 平成17年9月26日(月)～10月28日(金)
- ウ 訪問保育実習先 一関市立あおば保育園
- エ 授業実践の内容

手だての試案に基づき行った授業実践の指導計画を【表8】に示す。なお訪問保育実習は、保育園が実施するカリキュラムを妨げないこと、子どもたちが注意散漫にならないことなどに配慮して、1クラスを2グループに分けて実施し、Bグループについては、一部、学習活動を入れ替えているが、学習段階は同じである。



【表8】授業実践の指導計画

段階	時	課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した学習活動	
		Aグループ	Bグループ
課題把握	1・2	保育ロールプレイング・VTR視聴	第1回訪問保育実習
	3・4	第1回訪問保育実習	保育ロールプレイング・VTR視聴
課題追求	5	ケーススタディ「子どもケアプランの作成」	
	6・7	ケーススタディ「子どもケアプランの完成と提出」 「子どもとのかかわり方学習」の考察の記録	
課題改善	8・9	改善保育ロールプレイング	第2回訪問保育実習
	10・11	第2回訪問保育実習 「子どもとのかかわり方学習」のまとめの記録	改善保育ロールプレイング

子どもとのかかわり方の理解を深めるために課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した授業実践の様子を【表9】に示す。

【表9】授業実践の様子

段階	時	課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した学習活動	生徒の様子	教師の支援
課題把握	1	保育ロールプレイング <学習1> 実際の家庭や社会生活の場面カードと保育ロールプレイングシナリオ作成シートを用いて、シナリオを作成する	シナリオ作成の様子 「母親に任せて大丈夫だと思う」 「帰宅後の協力は無理・・・」 「セリフが続かない・・・」	みんなは、1日24時間のうち約12時間は学校での生活ですね。この生活に子どもが関わったとき、どうなるか考えてみましょう。生活を維持するために働き、家族を持つ生活を予測しながら、セリフを考えましょう。
	2	<学習2> 保育ロールプレイングシナリオ作成シートの<学習2>の部分に、登場人物それぞれの立場で感じたことをまとめる VTR視聴「赤ちゃんの養護」視聴覚学習シートに視聴して分かったことを記録し、乳児との生活について意見や考えをやりとりする	登場人物それぞれの気持の記述 子ども：けっこうわがままで思った 父の気持：子どものしつけを母に任せっきりなところがあると思った 母の気持：いつも子どもを叱ってばかりで、ストレスがたまっている感じだ 学習シートの記録状況 ラベルに分かったことがメモ書きされている。自分の考えを、長文でまとめることに抵抗がある生徒も、視聴のねらいにそった記述をしている。	育児に非協力的であったり、会話に沈黙があったりするシナリオも現実的でいいですよ。そこから、問題点を見つけて改善していけばいいのです。 ラベル部分に記録したことや意見をやりとりして、乳児との生活課題について考えましょう。

段階	時	課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した学習活動	生徒の様子	教師の支援
課題把握 △受容的かわり▽	3 4	<p>訪問保育実習</p> <p>訪問保育実習名札シールにひらがなで自分のなまえを書き左胸に貼る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長講話 小野寺里子先生 「保育園と子どもへの接し方について」 ・乳幼児観察、保育体験 「子どもとの遊び」 <p>実習から分かったこと、子どもの様子や生徒自身の子どもとの接し方を子どもとのかかわり方メモブックに記録する</p> 	<p>名札シールの必要性の状況 初めは、自分の胸に名札を貼り付けることに恥ずかしさなどの抵抗感を抱いている様子であったが、子どもや保育士に名前と呼ばれることで、実習の中盤には必要性を認識し、子どもに見える位置に貼り直していた。</p>  <p>子どもとのかかわり方メモブックへの生徒の記述 「視線を合わせ、姿勢を低くした」 「子どもがやりたいと言ったことを私も一緒にやってあげた」 「子どもの話をしっかりと聞くなど、子どもの考えを理解できるように頑張った。」 「子どもがげんかして泣いたときは、弁護士のように二人の言い分を聞いてあげた」 「大変だった、また行きたい、次はうまくかわりたい」</p>	<p>事前に子どもとのかかわり方メモブックで、保育実習の服装や内容が確認できます。 実習の時には、小さな本にして携帯し、必要なことを記録しましょう。</p> <p>第1回訪問保育実習での子どもとのかかわり方メモブックの記録を、ラベリングして掲示しました。子どもへの接し方を再度確認し、今後の子どもとのかかわり方学習に活用しましょう。</p>
課題追求 △共感的かわり▽	5 6 7	<p>ケーススタディ</p> <p><学習3></p> <p>作成したシナリオから子どもへの対応について考えたり、子育て支援リンク集で調べたりして、問題点と改善策を子どもケアプラン学習シートに書き出す。</p>  <p><学習4></p> <p>子どもケアプラン学習シートの問題点、改善策のラベル部分を切りとり、子どもケアプラン評価シートに並べる。</p> <p>ラベルを班で共有し、子どもの状況に応じた保育の在り方や社会的支援の利用について、話し合い、子どもケアプラン評価シートを完成させる。</p>	<p>問題点の記述の様子 「子どもの前でケンカのようなものをして不安にさせている」 「お母さんが育児ノイローゼになっているみたい」</p> <p>改善策の記述の様子 「子どもは、少しのことで不安に感じてしまうので、両親が協力して子育てする姿勢をみせると子どもにもよいかたちで伝わるんだ。」 「親子交流会というのがあるんだ。家に閉じこもらず、外に出て参加してみるといいかも・・・」</p>  <p>課題改善に活用</p> <p>「協力して子育てができると楽しくなるね」</p>	<p>子どもは体調不良や不快などの状況をどういう手段で周りの大人に伝えようとするのかを思い出して、問題点と改善策を考えてみましょう。</p> <p>子どもケアプラン評価シートの 「家族の協力」 「隣り近所（職場）の理解と協力」 「社会的支援の利用」の三つの着眼点に注目して、子どもの状況に応じた対応の仕方を考えましょう。また、性別役割分業観の見直し、家族間の生活時間の調整や、経済的な負担など、実行の容易性についても検討してみましょう。</p> 

段階	時	課題解決的な学習を取り入れた教材を活用した学習活動	生徒の様子	教師の支援
課題改善 △応答的かかわり▽	8 9	<p>改善保育ロールプレイング <学習5> 作成した「子どもケアプラン評価シート」と改善保育ロールプレイング学習シートを用いて、保育ロールプレイングのシナリオを改善する</p> <p><学習6> シナリオの発表と相互評価の後に、保育ロールプレイング改善前と改善後の気持の感じ方の違いを、改善保育ロールプレイング学習シートの<学習6>の部分にまとめる</p> 	 <p>改善後の登場人物のそれぞれの気持の記述 父の気持：母を思いやる気持ちが感じられてよくなっていると思った。 母の気持：子どものことを父と分かり合っていて、とても幸せな家族になっている。</p> <p>改善保育ロールプレイング発表の様子 どの班も子どもの気持ちを考えて、シナリオを改善している様子が見られる発表となった。シナリオが6コマ続けられない班もあったが、子どもの行動の意味を考え、気持ちを代弁するセリフ作りに努力した様子を感じ取れるものであった。発表を聞く側は、子どもの気持ちを考えたよりよい対応のシナリオ発表に対して、「いい家族だね」という感想を述べたり、発表後のクラス全体の雰囲気が暖かい気持ちになったり、しみじみとした気持ちになったりする場面が見受けられた。</p>	<p>学習の始めに作成したシナリオと同じ子どもの状況について、子どもの立場に立った保育態度の在り方を考えて、シナリオを改善し、発表しましょう。</p> <p>発表方法 礼「これから 班の発表を始めます。」 「 期の発達段階の 場面のシナリオを改善しました。」 配役と自己紹介 ロールプレイング発表 「これで終わります」 礼</p>
	10 11	<p>訪問保育実習 訪問保育実習名札シールにひらがなで自分の名前を書き左胸に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育体験 「子どもとの遊び」 ・ 園長講話 「子どもとのかかわり方」 <p>保育ロールプレイングや子どもケアプランでの学習活動で、子どものかかわり方について考えたことふまえて保育を実践し、状況を子どものかかわり方メモブックにまとめる。</p>   	<p>保育実習の様子 1回目と同じ保育室に入り、対面とあいさつをしてから、組ごとの保育に参加した。 1回目は、生徒：子ども=複数：1の関係が多く、うまくかかわることができなかった生徒も、生徒：子ども=1：複数の対応ができていた。</p> 	<p>子どもと接する時は、表情（笑顔）行動（姿勢・目線を合わせる）ことばかけ（うなづきながら注意深く聞く、言葉にして返す）に留意しましょう。</p>  <p>園長先生、主任保育士さんからのお話 「子どもたちは、お兄さん、お姉さんが来るのをとても楽しみにしていました。子どもたちは、みなさんを信頼して、自分を任せて遊んでいました。」 「自分の命を大切にできる人は、他人の命も守ることができます。」 「子どもは、親や周囲の大人が責任をもって育てていくものですよ。」</p>

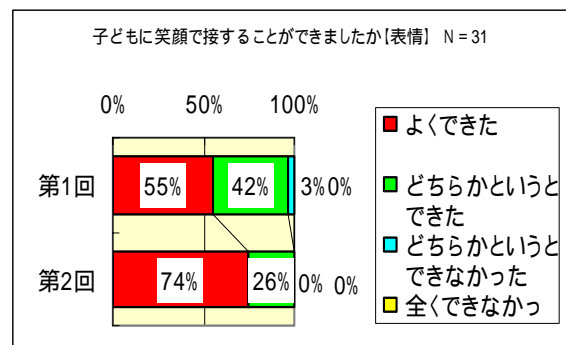
(2) 実践結果の分析と考察

ア 子どもとのかかわり方の理解の深まりの変容

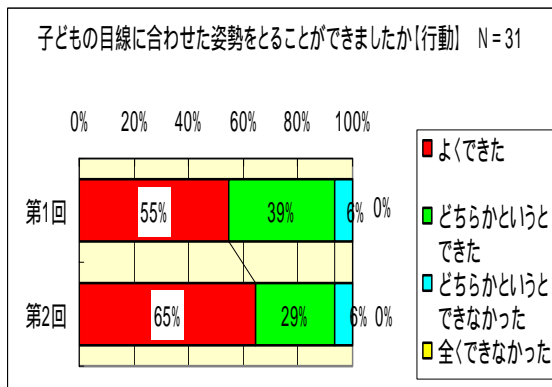
子どもとのかかわり方の理解の深まりの状況についての検証内容は、(ア)子どもへの接し方、(イ)子どもの状況に応じた対応の仕方の理解の二つである。分析の結果、(ア)については、2回の訪問保育実習後の子どもへの接し方チェック項目の記録から子どもとのかかわり方の理解が深まったことが確認された。(イ)については、学習の事前・事後のアンケート、自己評価の集計結果から分析したところ、子どもとのかかわり方の理解が深まったことが確認された。以下に、(ア)と(イ)のこれまでの分析の詳細を示す。

(ア) 子どもへの接し方の変容状況

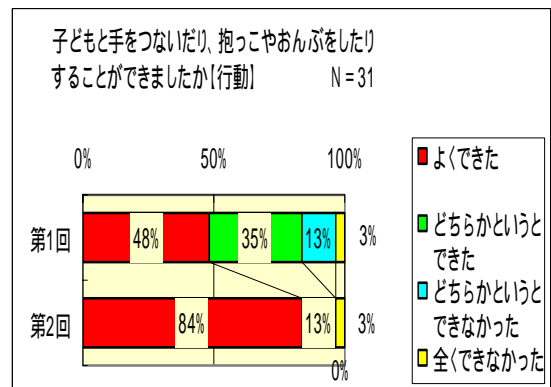
学習の導入に位置付けた第1回訪問保育実習と課題改善段階のまともに位置付けた第2回訪問保育実習後に表情、行動、ことばかけの三つの内容5項目について記録させ、その集計結果を分析した。その結果を【図10】【図11】【図12】【図13】【図14】に示す。分析の結果、すべての項目において9割以上の生徒が肯定的にできたと答えている。これは、1回から2回の訪問保育実習の間に子どもの状況に応じた対応の仕方を考え表現させる学習を設定したことにより、生徒が子どもの感情表現や行動を受けとめてかかわることを意識しながら保育を実践した結果と考えられる。



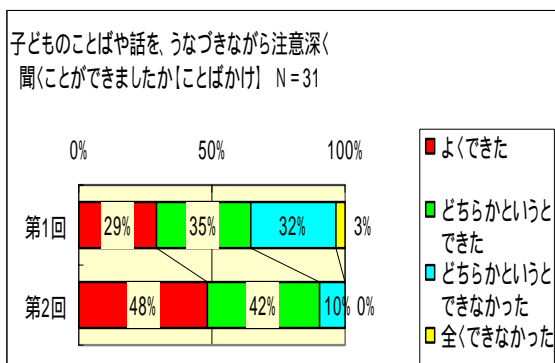
【図10】接し方・表情



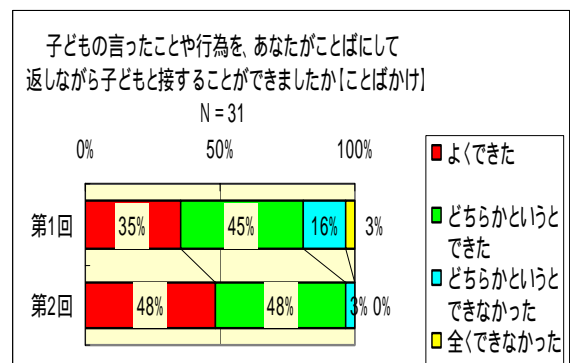
【図11】接し方・行動



【図12】接し方・行動



【図13】接し方・ことばかけ



【図14】接し方・ことばかけ

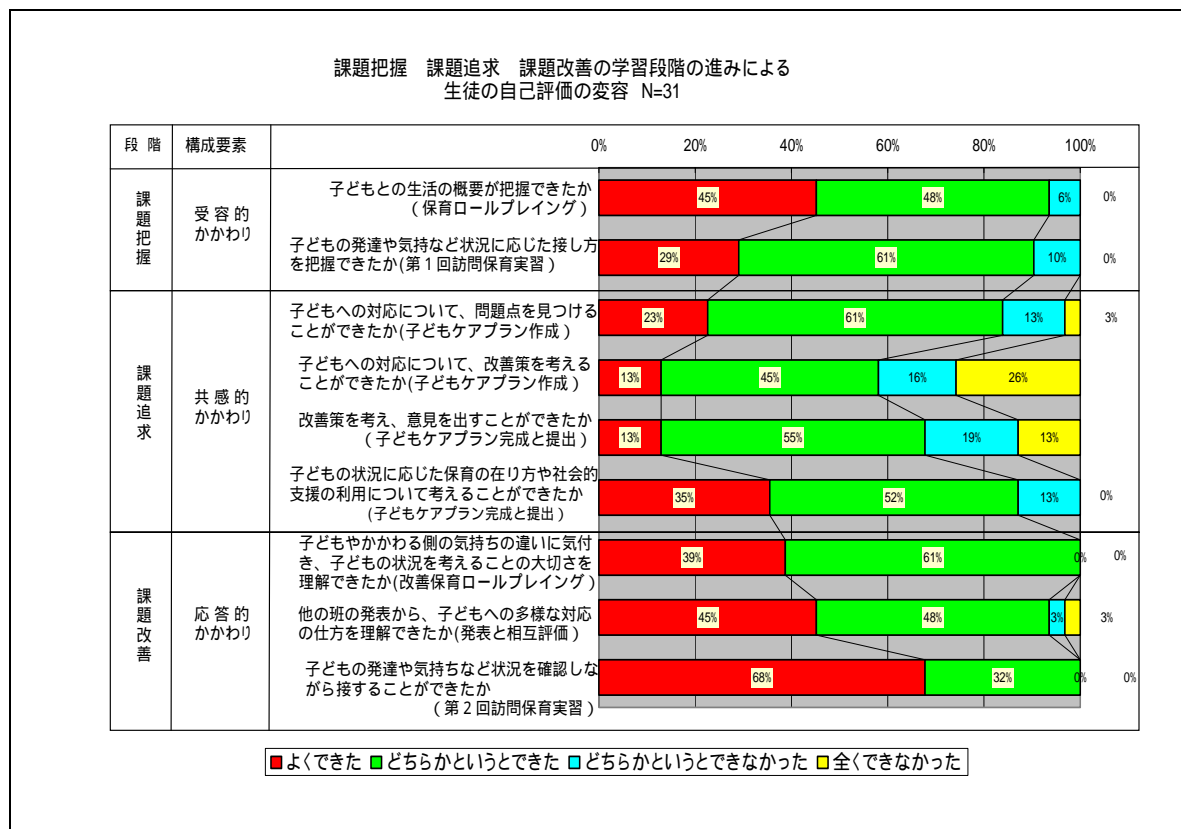
(1) 子どもの状況に応じた対応の仕方の理解の変容状況

【表10】に学習の事前・事後アンケートの集計結果と学習シートにみられる生徒の変容の状況の一例を示す。その結果、構成要素である受容的かかわり、共感的かかわり、応答的かかわりについて肯定的な回答を示す生徒が増えている。受容的・共感的かかわりについては、中学校の技術・家庭科家庭分野での幼児の発達について学習している内容と重複するため、学習前の段階から肯定的な回答となったと考えられる。応答的かかわりの変容については、生徒自身が子どもとのかかわり方の状況を保育ロールプレイング、保育体験から把握し、ケーススタディ「子どもケアプランの作成」から子どもへの対応について問題点と改善策を考える学習によって高まったものと考えられる。

【表10】学習の事前・事後アンケートの集計結果と学習シートにみられる生徒の変容の状態

段階	構成要素	生徒の変容の状況 (全体 N = 31)	抽出生徒による学習の記録にみられる変容の状態 (中学校での訪問保育実習の経験がなく、普段の生活において子どもとのかかわりが全くない生徒) * 下線が構成要素の変容の状態																		
課題把握	受容的かかわり	<p>子どもの発達には一定のめやすと個人差があることがわかりますか(わかりましたか) N=31</p> <table border="1"> <caption>受容的かかわりアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>0%</th> <th>26%</th> <th>52%</th> <th>23%</th> <th>0%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前</td> <td>0%</td> <td>26%</td> <td>52%</td> <td>23%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>61%</td> <td>0%</td> <td>32%</td> <td>8%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	0%	26%	52%	23%	0%	事前	0%	26%	52%	23%	0%	事後	61%	0%	32%	8%	0%	<p>生徒：「子どもと接するのは思った以上に大変でした。何を言われているのかよく聞き取れなかったときもありました。<u>子どもの様子を見て理解することが大切だと知った。</u>」(第1回訪問保育実習後の子どもとのかかわり方メモブックの記述)</p> <p>教師：「そうですね、子ども一人一人に特徴があるので、すぐには、子どもが話していることを理解できないこともあります。」</p>
時期	0%	26%	52%	23%	0%																
事前	0%	26%	52%	23%	0%																
事後	61%	0%	32%	8%	0%																
課題追求	共感的かかわり	<p>子どもが泣いたり、だだをこねたりなど感情表現の意味を考えることができますか(できましたか) N=31</p> <table border="1"> <caption>共感的かかわりアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>0%</th> <th>10%</th> <th>52%</th> <th>32%</th> <th>6%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>52%</td> <td>32%</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>23%</td> <td>0%</td> <td>52%</td> <td>23%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	0%	10%	52%	32%	6%	事前	0%	10%	52%	32%	6%	事後	23%	0%	52%	23%	3%	<p>生徒：「子どもとのかかわりということは、とても難しいことだし、責任が必要なことだということがわかった。<u>子どもの気持ちを理解するには、子どもをよく観察することが必要だということもわかったので、次に保育園へ行くときは子どもをよく見てみたいと思う。</u>」(学習の考察の記述)</p> <p>教師：「そうですね、一人だけで子どもを育てることは大変です。家族の協力や社会的支援の利用について考えをまとめるとさらに良くなります。」</p>
時期	0%	10%	52%	32%	6%																
事前	0%	10%	52%	32%	6%																
事後	23%	0%	52%	23%	3%																
課題改善	応答的かかわり	<p>子どもの状況に合わせた対応の仕方を考えることができますか(できましたか) N=31</p> <table border="1"> <caption>応答的かかわりアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>0%</th> <th>3%</th> <th>42%</th> <th>45%</th> <th>10%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前</td> <td>0%</td> <td>3%</td> <td>42%</td> <td>45%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>13%</td> <td>0%</td> <td>68%</td> <td>19%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	0%	3%	42%	45%	10%	事前	0%	3%	42%	45%	10%	事後	13%	0%	68%	19%	0%	<p>生徒：「<u>保育園の子どもたちは元気が良すぎて本当に疲れた。しかし、前回よりも子どもたちの気持ちを理解して接することができたから良かった。</u>」(第2回訪問保育実習後の子どもとのかかわり方メモブックの記述)</p> <p>保育士：「<u>釣山にお散歩に行き崖登りに挑戦すると、怖くて泣き出した子どもにびったり付き添い、途中で諦めさせず最後までをばらせ、達成感を味わわせていた。</u>」</p> <p>生徒：「<u>保育園は本当に疲れたけど、たくさん学ぶことがあった。子どもの目の高さに合わせて話をする、子どもの気持ちを理解してあげることなどだ。特に大変だったのは子どもの気持ちを考えて話したり、遊んだりすることだった。</u>(中略)自分が子どもを育てる立場になったとき、今回の学習を思い出して生かしたい。教科書などの文章を読んで勉強するよりも、<u>具体的に現実的な感じがしているいろいろなことを考えさせられた。</u>保育園の帰り道、友だちと親になったら・・・とか話したこともあった。」(学習のまとめの記述)</p> <p>教師：「そうですね、心に深く残る学習になりましたね。子どもとのかかわり方で学んだことを日常の家族・友だちなど他者とのかかわり方にも生かして下さい。」</p>
時期	0%	3%	42%	45%	10%																
事前	0%	3%	42%	45%	10%																
事後	13%	0%	68%	19%	0%																

自己評価の変容は、毎時間の学習内容の理解の状況を把握するために学習目標に基づく評価項目を設定し、4段階で記述させ、その集計結果を分析した。その結果、体験的な学習を課題把握段階に位置付け、子どもへの対応を考え表現させる課題解決的な学習指導は、子どもとのかかわり方の理解を深めるのに有効であったと考えられる。なぜなら、学習の導入に保育を直接・模擬的に体験できる学習活動を位置付けることによって、生徒が課題意識を持ちながら子どもの状況に応じた対応の仕方を考え、表現する学習に取り組むことができた結果と考えられる。【図15】に生徒の自己評価の変容を示す。



【図15】学習段階の進みによる生徒の自己評価の変容

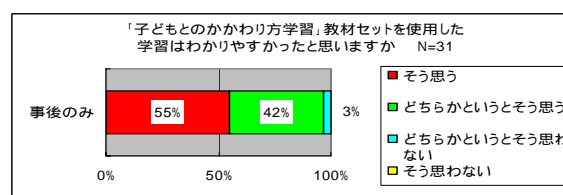
以上、訪問保育実習後の子どもへの接し方チェック項目の記録、学習の事前・事後のアンケート、自己評価カードへの記述内容から、手だての試案に基づく授業実践は、子どもとのかかわり方の理解を深めるために有効であったと考えられる。

イ 教材の有用性について

教材の有用性については、事後アンケートの集計結果を分析した。検証内容は、(ア)教材を活用した学習に関する意識、(イ)教材の有用性に関する意識の2つである。分析の結果、(ア)と(イ)の内容ともに教材の有用性が明らかとなり、手だての有効性が確かめられた。しかし、授業実践を通して、教材の使い方と手順について検討が必要であることも明らかになった。詳細について、以下に示す。

(ア) 教材を活用した学習に関する意識

【図16】は、教材を使用した学習に関する意識について調査したものである。この結果、作成した教材を使用したことで、97%の生徒が肯定的な回答をしている。その理由として、子どもとの生活課題を具体的な場面で示した



【図16】教材を使用した学習に関する意識

こと、体験したことに基づいて客観的・肯定的な思考で課題解決を進められたことが、子どもとのかかわり方の理解を深める上で役に立ったためと考えられる。

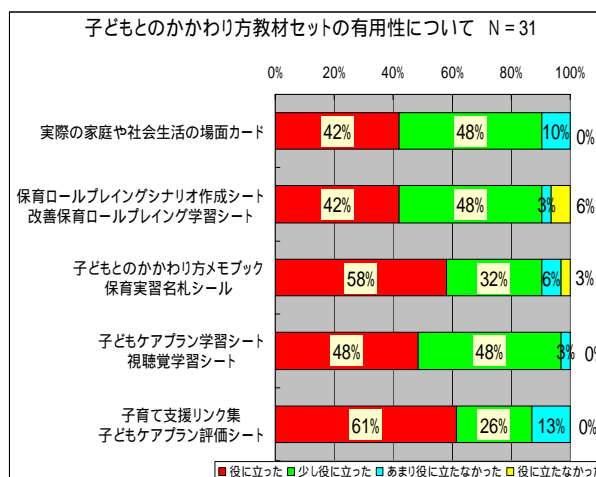
子どもとのかかわり方学習教材セットを使用した学習において、考えたり、気付いたりしたことの記述を【表11】に示す。子どもとのかかわり方の理解の深まりが、実生活や将来において子どもとよりよくかかわろうとする意欲につながっていることを読み取ることができる。

【表11】子どもとのかかわり方学習教材セットを活用した学習における生徒の思考や気づきの記述

子どもとのかかわり方の理解を深める構成要素	受容的かかわりの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんは泣くことでしか表現できないので、大人は今赤ちゃんが、何を求めているのかをわかってあげなければいけないのだと思った ・子どもをよく見ていることで、子どもの少しのことでも感じとり、対応することができるとうわかった
	共感的かかわりの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと接する際には相手の目線に立ち、気持を考えることが大事だと思った ・今回の学習で子どものことを考えてみて、どのようなケースがあって、どう対応すればよいのか考えることができたのは、自分が大人となり、子どもができた時に役立つことだと思った
	応答的かかわりの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不安、嬉しい、悲しい、楽しい気持などを感じとり、それに応じて接することができるようになった ・ロールプレイングでは、日常の生活では全く考えないことだったので、考えるのがとても大変だった。子どもがだだをこねたときの対処法などを教えてもらってとてもためになった
実生活や将来における実践意欲	実生活での実践意欲	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングといった実際に父や母になりきって会話を考えることが難しかったが、学習を重ねるうちに慣れ、問題や改善策を見つけることができた。今後の子どもとのかかわりに役立たいと思った
	家族の協力や自分を育てた親の立場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の協力は不可欠であると感じた ・自分たちを育てた母や父の大変さを感じた ・周りの人たちと協力し合って生活し、子どものしつけをしっかりすることも大切だと思った
	将来の自身の保育像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの接し方を理解できたので、将来に生かしたいと思う僕は子どもが好きだし、子どもを持ちたいと思いますが、計画的に子どもをつくりたい ・父としての在り方は、以前は任せっきりでも大丈夫だと思っていたけど、母親がストレスをためると子に影響を与えるので、父としてカバーしていきたい ・小さい子どもたちの面倒をみるのが、こんなに大変なことだと思わなかった。この学習をしたことが、自分たちが親になったときにとても役立つだろうと思う
	現代の保育や子がいる家庭への社会的支援の在り方に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の利用は、預けてばかりだと子どもとの時間がなくなってしまい、悲しい思いをさせてしまうので、子どもとの時間も大切にしていってほしいと思う ・子どもとかわって、親の大変さが本当に良く分かった。虐待によって死んでいく子どももいるので、それを防止するために、悩みを聞いてあげる機能をもっと作るべきだと思う ・これからの私たちの課題は、今生きている子どもたちを立派に育てていかなければならないということです。なので、これからは、地域や子育て支援施設などの利用を充実させていきたい

(イ) 教材の有用性に関する意識

【図17】は、作成した教材について、事後アンケートにより調査した結果である。作成した教材は、概ね9割が役に立ったと回答していることから、子どもとのかかわり方の理解を深めるために有用であったと考えられる。しかし、保育ロールプレイングに関わる教材については、使い方と手順をさらに改良し、生徒の思考や実生活での実践意欲を促す工夫を充実させる必要がある。



【図17】教材の有用性

5 高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」における子どもとのかかわり方の理解を深める学習展開に関する研究のまとめ

「乳幼児の発達と保育・福祉」の学習における子どもとのかかわり方の理解を深めさせるために課題解決的な学習を取り入れた教材を工夫し、それを活用した授業実践を行った。その研究についての成果と課題は次のとおりである。

(1) 成果

ア 子どもとのかかわり方の理解を深めるには、「課題把握」、「課題追求」、「課題改善」の課題解決的な学習展開が有効である。課題把握では、訪問保育実習等を行って受容的なかかわりを、課題追求では、ケーススタディを行って共感的なかかわりを、課題改善では、課題把握段階と同様の学習活動を再び行って応答的なかかわりをそれぞれ把握できたこと

イ 実際の家庭や社会生活の場面を設定した教材を工夫し、子どもの体調不良や不快を表す状況などを含めた課題への対応を考え表現させることができる「子どもとのかかわり方学習」教材セットを作成することができたこと

ウ 体験的な学習に基づき生活課題を把握し、主体的に課題の解決を進める学習活動を通して実生活において子どもとよりよくかかわろうとする意欲を高めることができたこと

(2) 課題

ア 「子どもとのかかわり方学習」教材セットの使い方と手順をさらにわかりやすくすること
イ 学習活動を精選し、作成した教材を活用した学習展開のコンパクト化を図る必要がある。訪問保育実習の計画が難しい場合には、保育ロールプレイングや視聴覚教材を有効に活用する学習展開が考えられる。情報処理室の使用が難しい場合には、実生活に即した解決の手段として国や地域毎の子育て支援機関の情報紙等の活用による学習展開が考えられる。

研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

本研究は、高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」の学習において、体験的な学習活動を大切にしながら、子どもとのかかわり方の理解を深める学習指導の改善に役立てようとするものである。

そのため、子どもと直接かかわる等の体験的な学習を課題把握段階に位置付け、子どもとのよりよいかかわり方を考え表現させる課題解決的な学習を取り入れた教材を作成し、授業実践を行った。実践結果の分析と考察を加え、仮説の妥当性を検討した結果、作成した教材は高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」において、子どものかかわり方の理解を深めることに有効であるという見通しを持つことができた。

2 今後の課題

課題解決的な学習を取り入れた教材が、高等学校家庭科の「乳幼児の発達と保育・福祉」のみならず、「人の一生と家族」の学習、専門教科家庭としての「発達と保育」でも有効活用できるように、さらに生徒の思考や実生活での実践意欲を促す工夫について研究していきたい。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさんに心から感謝申し上げます、結びのことばといたします。

【引用文献】

- (1) 武藤八重子(1998),『家庭科教育再考』,家政教育社,p.160
- (2) 武藤八重子(2000),『テキスト家庭科教育』,家政教育社,p.98
- (3) 中間美砂子(2004),『家庭科教育法-中・高等学校の授業づくり-』,建帛社p.76

【参考文献】

- 角田春高著(2003),『“今”からはじめる育て直し』,エイデル研究所
- 鯨岡峻・鯨岡和子共著(2004),『よくわかる保育心理学』,ミネルヴァ書房
- 才村純著(2004),『ぼくをたすけて-子どもを虐待から守るために-』,中央法規
- 汐見稔幸・榊原洋一・中川信子共著(2004),『はじめて出会う育児の百科』,小学館
- 汐見稔幸著(1994),『父子手帖お父さんになるあなたへ』,大月書店
- 進野智子・小林小夜子・相浦雅子共著(2001),『事例とD I Yで展開する保育実践 Ver. 2』,北大路書房
- 武田信子著(2002),『社会で子どもを育てる-子育て支援都市トロントの発想-』,平凡社新書
- 田中未来他編(1990),『新幼稚園教育要領研究6 幼児教育キーワード集』,明治図書
- 中川信子著(2004),『0~4歳赤ちゃんのことばが育つ場面別に楽しむ「語りかけ」』,小学館
- 中間美砂子編著(2004),『家庭科教育法-中・高等学校の授業づくり-』,建帛社
- 山縣文治編(2002),『よくわかる子ども家庭福祉』,ミネルヴァ書房
- 浜田駒子著(2001),『家庭科における心理劇の実践-総合的な学習の時間にも対応-』,家政教育社
- 牧野カツコ編(2002),『家庭科ワークブック人間の発達と保育』,東京書籍
- 皆川興栄著(2005),『生きていく知恵を学ぶライフスキルの基礎基本』,明治図書
- 武藤隆・清水益治編著(2002),『保育ライブラリ子どもを知る保育心理学』,北大路書房
- 武藤隆共著(2005),『1~4歳発達に合わせてもっとじょうずにしかり方』,主婦の友社
- 武藤八重子著(2000),『テキスト家庭科教育』,家政教育社
- 助産婦グループ「サンバ」(2002),『赤ちゃん用語辞典「ママ、わかって!」赤ちゃんが泣く17の理由』,婦人生活社
- 文部科学省,『学校組織マネジメント研修~すべての教職員のために~(モデルカリキュラム)』
- 平成15年度教育情報化推進指導者養成研修講義資料『授業設計と教材作成について』
- 石塚千登勢,高等学校家庭科における保育への関心を高める指導展開の工夫に関する研究,
平成12年度岩手県教育研究発表会資料,平成13年2月15日
- 千葉淳子,技術・家庭科における共生能力を育成する学習指導の研究
-家庭分野「家族と家庭生活」の体験的な学習をとおして-(第2年次),
平成15年度岩手県教育研究発表会資料,平成16年2月17日

補 充 資 料

子どもとのかかわり方学習教材セット

[活用方法はこちら](#)

実際の家庭や社会生活の
場 面 カ ー ド



子どもとのかかわり方体験教材



写真とイラストを
クリックしてみよう

子育て支援リンク集



学 習 シ ー ト



終 了

目 次

- 【資料1】 実際の家庭と社会生活の場面カード・・・・・・・・・・・・・・・・補 1
- 【資料2】 子どもとのかかわり方体験教材〔保育ロールプレイングシナリオ作成シート〕・・ 補 2・3
- 【資料3】 子どもとのかかわり方体験教材〔子どもとのかかわり方メモブック 〕・・・・ 補 4・5
- 【資料4】 学習シート〔子どもケアプラン学習シート〕・・・・・・・・・・・・・・・・補 6～8
- 【資料5】 学習シート〔子どもケアプラン評価シート〕・・・・・・・・・・・・・・・・補 9
- 【資料6】 学習シート〔改善保育ロールプレイング学習シート〕・・・・・・・・補 10・11
- 【資料7】 学習シート〔視聴覚学習シート〕・・・・・・・・・・・・・・・・補 12
- 【資料8】 指導計画・評価計画（授業実践展開案、自己・相互評価カード）・・・・補 13～22
- 【資料9】 事前・事後アンケート用紙・・・・・・・・・・・・・・・・補 23・24
- 【資料10】 事前・事後アンケート集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・補 25～27
- 【資料11】 子どもとのかかわり方学習教材セットを活用した学習における生徒の記述状況 ・ 補 28～33

【資料1】 家庭基礎「乳幼児の発達と保育・福祉」



子どもが存在する

実際の家庭や社会生活の場面カード

使い方 点線にそって切りとり、保育・学習教材(シナリオ作成シート、改善保育RP学習シート)に貼ります。
 かわり方 登場人物・子どもの名前・セリフなどシナリオの作成から、子どもとの生活を模擬体験できます。

番号	発達段階	場面	状況()登場人物:「セリフ……」
1	乳児期	出産後の子育て	状況(妊娠中の妻が、出産後の子育てと仕事の両立に悩んでいる) 妻:「初めての子どもだし、1歳ぐらいまでは自分で育てたいな。でも、長期間休んだら職場に迷惑がかかるかしら?」
2	乳児期	喃語・発語	状況(メリーゴーランドをみつめて、笑みを浮かべている) 赤ちゃん:「アー、アー」「ウー、ウー」
3	乳児期	おもちゃ交換	状況(赤ちゃんが、いきんで真っ赤な顔になり、おならをしている) 母:「お父さん、揚げ物の途中で手が離せないから、子のおもちゃをみてちょうだい」
4	乳児期	夜間・休日の体調不良	状況(突然、赤ちゃんが下痢と嘔吐を繰り返している) 父:「男、うんちがゆるいなあ。わあっ、ミルクを吐いたぞ、今日はママが会議で帰りが遅くなるし、どうしよう」
5	乳児期	育児不安	状況(突然の転勤、帰宅時間が遅い父と家庭で子育てに専念している母の生活) 母:「子どもと家でいつも二人っきり、環境が変わって子は、いつも泣いてばかり、あなたもう少し早く帰ってこれないの!？」
6	幼児期	食事の自立	状況(子どもがおかずを大皿から自分の分を取り分けようとしてこぼしてしまう) 子ども:「おおきい組さんになったから、自分でやるから大丈夫!」
7	幼児期	買い物	状況(ショッピングセンターで子どもがだだをこねている) 子ども:「買って、買ってえー、これ全部欲しいよお」
8	幼児期	友だちとの遊びでの自己主張	状況(公園で子どもたちが遊んでいる。子がブランコを独り占めしている) 子ども:「いやいや、わたしのブランコなの!!」
9	幼児期	下の子の出産時	状況(第2子出産前後の入院中の父子生活を、母が心配している) 子ども:「ぼく、お母さんと赤ちゃんと一緒に病院に泊まってそこから学校に行くから大丈夫だよ」
10	幼児期	幼児虐待	状況(冬のある朝、ベランダで子どもが泣いている。隣人たちが同じ状況を見かけるようになって今日で5日目である) 子ども:「おかあさん、おかあさん」
11	児童期	居間での勉強	状況(小学校入学と同時に子ども部屋に机を置いたが、子どもは居間でしか宿題をやりたがらない) 子ども:「ただいま、おかあさんテーブル使うよ」
12	児童期	逆上がりができるようになった	状況(子どもが、苦手な鉄棒で逆上がりができるようになったことを家族に伝えようとしている) 子ども:「やったー、できるようになったよ!!」
13	児童期	友だちとのけんか	状況(友だちとのけんかに負けて、泣いている) 子ども:「ひくひく、しくしく」
14	児童期	食事時間のゲーム	状況(夕飯ができあがっても、子どもがゲームに夢中になっている) 母:「ご飯ができたから、さあ食べましょう」
15	児童期	親子レク	状況(平日の午後、小学校で親子レクを行うことになった。母は日中寝たきりのおばあちゃんの介護をしている) 子ども:「お母さん、親子レクに参加できるよね」

注意: ここでの児童期の子どもとは、小学校1~3年生を対象としています。

【資料3】

子どもとかかわるときの服装ポイント

動きやすく、清潔であること
(運動着に、ポケット付きのエプロン)
つめはみじかく、長い髪は束ねる
靴は、はき慣れたもの(運動用シューズ)
ポケットティッシュ
ハンカチ・ミニタオル(自分用)
注:子どもの手は、園に用意されているもので
ふいてあげましょう。

3 子どもとの遊びの記録

子どもとかかわり方体験教材
〔子どもとかかわり方メモブック〕

第 1 回保育体験実習の記録

平成 年 月 日() グループ

年	組	番
氏 名		

*この用紙は、8つに折って点線に切り込みを
入れると小さな本になります。

4 第 1 回保育体験実習の感想

月	日()	教師	
時	提出	評価	

1 園長講話記録 保育園について

5 子どもへの接し方チェック項目

<チェック基準>

ア よくできた イ どちらかというときできた
ウ どちらかというときできなかった
エ 全くできなかった

(1) 子どもに笑顔で接することができましたか。

ア イ ウ エ

(2) 子どもの目線に合わせた姿勢をとることが
できましたか。 ア イ ウ エ

2 園長講話記録 子どもと接する時

(3) 子どもと手をつないだり、抱っこやおんぶを
したりすることができましたか。

ア イ ウ エ

(4) 子どものことばや話を、うなづきながら注意
深く聞くことができましたか。

ア イ ウ エ

(5) 子どもの言ったことや行為を、あなたがこと
ばにして返ししながら子どもと接することが
できましたか。 ア イ ウ エ

子どもとかかわるときの服装ポイント

動きやすく、清潔であること
(運動着に、ポケット付きのエプロン)
つめはみじかく、長い髪は束ねる
靴は、はき慣れたもの(運動用シューズ)
ポケットティッシュ
ハンカチ・ミニタオル(自分用)
注:子どもの手は、園に用意されているもので
ふいてあげましょう。

3 園長講話記録 子どもとかかわり方

子どもとかかわり方体験教材

[子どもとかかわり方メモブック]

第2回保育体験実習の記録

平成 年 月 日() グループ

年 組 番

氏 名

*この用紙は、8つに折って点線に切り込みを
入れると小さな本になります。

4 第2回保育体験実習の感想

月 日()	教師	
時 提 出	評 価	

1 子どもの感情表現と行動の様子の記録

5 子どもへの接し方チェック項目

<チェック基準>

ア よくできた イ どちらかというのできた
ウ どちらかというのできなかった
エ 全くできなかった

(1) 子どもに笑顔で接することができましたか。

ア イ ウ エ

(2) 子どもの目線に合わせた姿勢をとることが
できましたか。 ア イ ウ エ

2 子どもとの遊びで工夫したこと

(3) 子どもと手をつないだり、抱っこやおんぶを
したりすることができましたか。

ア イ ウ エ

(4) 子どものことばや話を、うなづきながら注意
深く聞くことができましたか。

ア イ ウ エ

(5) 子どもの言ったことや行為を、あなたがこと
ばにして返しながらかかわることが
できましたか。 ア イ ウ エ

【資料4】 家庭基礎「乳幼児の発達と保育・福祉」学習シート

〔子どもケアプラン学習シート〕

年 組 番 (班)	氏名
-------------	----

<学習3> 子どもケアプランの作成

手順 保育ロールプレイングシナリオ作成シートでつくったシナリオを用いて、子どもケアプランを作成します。保育ロールプレイングのシナリオから子どもへの対応について、問題点と改善策を考えましょう。

班のメンバー同士で意見や考えをやりとりできない場合は、思いついたことをラベルに書きだしていくことから始めてみましょう。

使用する教材 保育ロールプレイングシナリオ作成シート、子どもケアプラン評価シート、子育て支援リンク集
準備する道具 筆記用具、はさみ(のり)、教科書、資料集、家庭科学習ノート

注意：ここには保育ロールプレイングシナリオ作成シートから**乳児期**のシナリオを切りとって貼り付けます。

子どもへの対応について、問題点または改善策をラベルに書き出しましょう

問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策

学習シート提出期限： 月 日 () 時	本人の提出日： 月 日 () 時	教師印
----------------------	-------------------	-----

〔子どもケアプラン学習シートNo.2〕

年 組 番 (班)	氏名
-------------	----

注意：ここには保育ロールプレイングシナリオ作成シートから**幼児期**のシナリオを切りとって貼り付けます。

子どもへの対応について、問題点または改善策をラベルに書き出しましょう

問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策

学習シート提出期限： 月 日 () 時	本人の提出日： 月 日 () 時	教師印
----------------------	-------------------	-----

〔子どもケアプラン学習シートNo.3〕

年 組 番 (班)	氏名
-------------	----

注意：ここには保育ロールプレイングシナリオ作成シートから**児童期**のシナリオを切りとって貼り付けます。

子どもへの対応について、問題点または改善策をラベルに書き出しましょう

問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策
問題点 or 改善策	問題点 or 改善策	問題点 or 改善策

学習シート提出期限： 月 日 () 時	本人の提出日： 月 日 () 時	教師印
----------------------	-------------------	-----

【資料5】家庭基礎「乳幼児の発達と保育・福祉」学習シート

〔子どもケアプラン評価シート〕 * このシートはA 3またはB 4に拡大して使用します

<学習4> 子どもケアプランの評価 子どもの発達段階 乳児期・幼児期・児童期（前期）

手順 各自が書き出したラベルを切り取り、グループで評価シートに並べて、子どもケアプランを完成させます。

使用する教材 子どもケアプラン学習シート、子育て支援リンク集

準備する道具 筆記用具、はさみ（のり）、教科書、資料集、家庭科学習ノート

年 組 番 (班)		氏 名		
班員の 氏名				

	家族の協力	隣り近所（職場）の理解と協力	社会的支援の利用
実行 容易性 高 ↑ ↓ 実行 容易性 低			
教師のコメントと評価			

番号		発達段階		場面	
注意： ここには実際の家庭や社会生活の場面カードの 児童期 から一つ選び、状況と登場人物・セリフを切りとって貼り付けます。					
改善保育RP児童期					
:「 :「 :「 :「 :「 :「 :「					

<学習6> 改善保育ロールプレイング - 子どもへのよりよい接し方を表現する -

手順配役を決めて、ロールプレイングのシナリオを発表しましょう。
 発表会の終わりに、子どもとかかわる側それぞれの立場で感じたことをまとめます。

使用する教材 改善保育ロールプレイングシナリオ作成シート
 準備する道具 筆記用具、はさみ(のり)

		改善保育ロールプレイングで感じたこと
子どもの気持ち	注意 ここには改善保育ロールプレイングシナリオ作成シートから<学習2>の「改善保育ロールプレイングで感じたこと」を切りとって貼り付けます。	
____の気持ち		
____の気持ち		
____の気持ち		
____の気持ち		
学習シート提出期限： 月 日 () 時		本人の提出日： 月 日 () 時
		教師印

【視聴覚学習シート】

使い方 VTRなどの視聴によって得た情報を8つのマスにメモします。点線にそって切りとり、各自サインまたはマークを表記して、他者と意見や考えをやりとりしたり、グループでまとめたりすることができます。

サイン or マーク	サイン or マーク	サイン or マーク
サイン or マーク	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 視聴のねらい </div>	サイン or マーク
サイン or マーク	サイン or マーク	サイン or マーク

視聴覚学習テーマ： <学習の考察とまとめ> 年 組 番 氏名	自己評価
1	ねらいにそって視聴できたか A B C D 自分の意見を他者とやりとりすることができたか
2	A B C D 学習活動から自分の考えをまとめることができたか
3	A B C D
4	自己評価は、 A よくできた B どちらかというときできた C どちらかというときできなかった D 全くできなかった
5	で、をつけましょう
6	教師の評価
7	A B C 未記入あり再提出です
8	
提出期限： 年 月 日 () 時	
本人の提出日： 年 月 日 () 時	

*学習シート作製者：平成17年度岩手県立総合教育センター 長期研修生 川地 里美

【資料 8】

題材の指導計画・評価計画（案）

科目名：「家庭基礎」 題材名：乳幼児の発達と保育・福祉（11時間扱い）

指導段階	指導内容	配当時間	主な学習活動	評 価	
				ア 関心・意欲・態度 ウ 技能・表現	イ 思考・判断 エ 知識・理解
課題把握	乳幼児の心身の発達と生活 ・子どもとの生活	4 (2)	・保育ロールプレイングシナリオ作成やVTR視聴を通して、子どもとの生活の概要を把握する	子どもとの生活を把握し、子どものかかわり方を考えようとしている ア ・視聴覚学習シート（提出）	
	・子どもの発達と個性	(2)	・訪問保育実習を通して、生徒一人一人が子どものかかわり方の状況を把握する	子どものかかわり方の状況について把握し、子どもへの接し方を考えようとしている ア ・子どものかかわり方メモブック（提出）	
課題追求	子どものかかわり方	(1)	・保育ロールプレイングのシナリオから、子どもへの対応について問題と思われる点を考える	子どもへの対応について、問題点を考えている イ ・子どもケアプラン学習シート（提出）	
		(2)	・子どもへの問題と思われる対応についてWeb情報を活用しながら、改善策について話し合い、子どもケアプランを作成する	子どもの状況に応じた対応の仕方について考えている イ ・自己評価カード No. 1 考察の記述（提出）	
課題改善	子どもの保育・福祉 ・子どもへのよりよい対応の仕方	4 (2)	・保育ロールプレイングのシナリオの改善と発表・相互評価を通して、子どもへのよりよいかかわり方を考え、表現する	子どもの立場に立った適切な対応の仕方を表現できる ウ ・発表の様子（観察） 子どもの状況を考えることの大切さを理解している エ ・改善保育ロールプレイング学習シートシナリオ（提出）	
	・子どもへのよりよい接し方	(2)	・訪問保育実習での遊びを通して、子どもの気持ちや行動を受けとめ、対応を考えながら、子どもと直接かわる	子どもの状況を確認しながら子どもとかわることができる ウ ・子どものかかわり方メモブック（提出） 子どもの状況に応じた対応の仕方の重要性を理解している エ ・自己評価カード No. 2 学習のまとめ（提出）	

【本時の目標】 保育ロールプレイングなど模擬体験を通して子どもとの生活の概要を把握させる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 10分	本時の学習内容を確認する 子どもとの生活の概要を把握する	自己評価カードで本時の学習のねらいと今後の学習計画を確認させる	・自己評価カード No. 1
展開 60分 (30)	<学習 1 > 保育ロールプレイングのシナリオを作成する <学習 2 > 配役を変えながら保育ロールプレイングを行い、感じたことを登場人物ごとの気持ちの欄にまとめる	乳時期、幼児期、児童期から状況の一つずつ選び、シナリオを完成させる 保育ロールプレイングを通して、子どもとの生活について関心をもたせるようにする	・ 実際の家庭や社会生活の場面カード ・ 保育ロールプレイングシナリオ作成シート ・ はさみ、のり ・ 新生児保育人形 ・ 乳幼児・児童実物大模型
整理 30分	VTRから乳児の 24 時間の生活と親の対応を視聴する 項目別自己評価のチェックと学習のまとめを記入し、提出する 次時の学習内容の確認をする	子どもが生きるためには、かわる側の多様な対応が必要であることに気付かせる ・ 自己評価の目安と課題の記入の仕方を指示する ・ 学習シートの提出日を確認させる 作業習慣、保育園への移動経路、あいさつ、実習組などを確認させる	・ 視聴覚学習シート ・ VTR「赤ちゃんの養護～病気・事故の対策～」(一橋出版) ・ PC、液晶プロジェクター ・ 自己評価カード ・ 子どもとのかかわり方メモブック ・ 訪問保育実習名札シール

【本時の評価】

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法 (場面)
子どもとの生活を把握し、子どもとのかかわり方を考えようとしている	子どもとの生活を予測し、具体的な子どもとのかかわり方をまとめている	子どもとの生活を予測し、子どもとのかかわり方を考えようとしている	文章でのまとめを苦手とする生徒には、ラベルへのメモを活用することを促す	ア 関心・意欲・態度 (視聴覚学習シート考察とまとめの記述)

【本時の目標】 保育園訪問による乳幼児観察・保育実習を通して、生徒一人一人に子どもとのかかわり方の状況を把握させる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・服装、つめの状態などを確認する ・本時の保育園訪問の実習内容を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業習慣、保育園への移動の際の交通安全に留意させる ・園児や保育士へのあいさつをさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問保育実習名札シール
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">子どもとのかかわり方の状況を把握する</div>		
展開 75分	<ul style="list-style-type: none"> ・園長講話「保育園と子どもへの接し方について」 ・各組の保育室に移動して、乳幼児の観察と遊びを中心とした保育を体験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長講話、保育園実習の記録をさせる ・講話終了後、各組の保育室へすみやかに移動させる ・各組担当の保育士の指示事項に留意させ、安全に保育を体験させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとのかかわり方メモブック ・保育士用PC ・液晶プロジェクター
まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・帰校および実習のまとめ ・次時の学習内容の確認をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードを記入、提出させる ・子どもかかわり方メモブックの提出日を確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カード No. 1 ・子どもとのかかわり方メモブック

【本時の評価】

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法 (場面)
子どもとのかかわり方の状況について把握し、子どもへの接し方を考えようとしている	子どもへの接し方の状況を振り返り、どのようにかわればよかったかなど具体的に記述している	子どもとのかかわり方について、自分の子どもへの接し方と結び付けて考えようとしている	子どもとのかかわりに消極的な生徒については、具体的なことばかけの例を示し子どもとのやりとりを促す	ア 関心・意欲・態度 (子どもとのかかわり方メモブック 記述)

【本時の目標】 保育ロールプレイングのシナリオから子どもへの対応について問題点を考えさせる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 5分	本時の学習内容を確認する 子どもへの対応について問題点を考える	自己評価カードで本時の学習のねらいを確認させる	・自己評価カード No. 1
展開 35分	<p><学習3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもケアプラン学習シートに保育ロールプレイングのシナリオを貼り付ける ・子どもへの対応について、問題点をラベルに書く ・子育て支援リンク集を用いて、改善策となる情報を収集する 	<p>保育ロールプレイングのシナリオから、子どもへの対応について、問題と思われる点を考えさせる</p> <p>収集した情報から、子どもの状況に応じた対応について、改善策となる事柄をラベルに書き出させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもケアプラン学習シート ・保育ロールプレイングシナリオ作成シート ・子育て支援リンク集 ・教科書、資料集 ・生徒用PC（情報処理室使用） ・液晶プロジェクター
整理 10分	学習のまとめと課題を提出する	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価カードの記入と提出をさせる ・子どもケアプラン学習シートを提出させる 	・自己評価カード No. 1

【本時の評価】

評価規準	十分満足（A）	おおむね満足（B）	努力を要する生徒への支援	評価方法（場面）
子どもへの対応について、問題点を考えている	子どもへの対応について、問題点を具体的に考え、まとめることができる	子どもへの対応について、問題点を考えている	意見や考えをやりとりできないグループについては、ブレンストーミングの手法での活動を促す	イ 思考・判断（子どもケアプラン学習シートの記述）

【本時の目標】 子どもケアプラン学習シートの問題点から子どもへの対応について改善策を考えさせる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 10分	本時の学習内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードで本時の学習のねらいを確認させる 課題把握段階で提出させた視聴覚学習シートを返却し、本時の学習で活用させる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カード No. 1 視聴覚学習シート「赤ちゃんの養護」(生徒記述・教師評価済み)
	子どもへの対応について改善策を考える		
展開 70分	<p><学習4></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもケアプラン学習シートに書き出したラベルを切り取り、評価シートに並べる 子どもへの対応について、問題点と改善策をグループで話し合ったり、情報収集したりする 	<p>子どもの状況に応じた対応について、家族の協力、隣り近所(職場)の理解と協力、社会的支援の利用の3つの着眼点に注目させ、ラベルを整理してまとめ、子どもケアプラン評価シートを完成させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもケアプラン評価シート 子どもケアプラン学習シート 子育て支援リンク集 教科書、資料集 家庭科学習ノート 生徒用PC (情報処理室使用) 液晶プロジェクター
まとめ 20分	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめと課題を提出する 次時の学習内容の確認をする 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードの記入と提出をさせる 作業習慣、保育園への移動、あいさつなどの他に、実習内容を確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カード No. 1 子どもとのかかわり方メモブック 訪問保育実習名札シール PC、液晶プロジェクター

【本時の評価】

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する 生徒への支援	評価方法 (場面)
子どもの状況に応じた対応の仕方について考えている	子どもの状況に合わせた保育や社会的支援の在り方について具体的に考えている	子どもの状況に応じた保育の在り方や社会的支援の利用について考えている	話し合いが円滑に進まないグループについては、3つの着眼点に再度注目させ、情報活用やまとめを促す	イ 思考・判断 (自己評価カードの No. 1の考察の記述)

【本時の目標】 保育ロールプレイングのシナリオの改善・発表・相互評価を通して、子どもとのよりよいかかわり方を理解させる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 10分	<p>本時の学習内容を確認する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">子どもへのよりよいかかわり方を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードで本時の学習のねらいを確認させる 課題追求段階で提出させた子どもケアプランの課題を返却し、本時の学習で活用させる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カード No. 2 子どもケアプラン学習シート、評価シート（生徒記述・作業、教師評価済み）
展開 75分	<p><学習5> 子どもケアプラン学習シート・評価シートをもとに、保育ロールプレイングのシナリオを改善する</p> <p><学習6></p> <ul style="list-style-type: none"> 改善保育ロールプレイングを発表し、相互に評価する 改善保育ロールプレイングの学習で感じたことを登場人物ごとの気持ちの欄にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの立場に立った保育態度の在り方を考えさせる 発表時の留意事項と相互評価の目安を指示する 保育ロールプレイング改善前と後の気持ちの感じ方の違いを比較させる 	<ul style="list-style-type: none"> 改善保育ロールプレイング学習シート 実際の家庭や社会生活の場面カード 保育ロールプレイング相互評価カード 保育ロールプレイングシナリオ作成シート <学習2>の部分
整理 10分	<p>学習のまとめと課題の提出日を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードの記入と提出をさせる 相互評価カードと改善保育ロールプレイング学習シートを提出させる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カード No. 2

【本時の評価】

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する 生徒への支援	評価方法(場面)
子どもの立場に立った適切な対応の仕方を表現できる	子どもの気持ちを考えたかかわる側の対応の仕方を、わかりやすく表現できる	子どもの立場に立った適切な対応の仕方を工夫し、発表することができる	作業が進まないグループには、親や周囲の大人とのかかわりで嬉しかったり、安心した場面を思い出してみるように促す	ウ 技能・表現 (発表の様子)
子どもの状況を考えることの大切さを理解している	子どもの状況に対し、かかわる側が子どもの気持ちを考えることの大切さを理解している	子どもとかかわる側の気持ちに気付き、子どもの状況を考えることの大切さを理解している	保育ロールプレイング改善前の気持ちの感じ方を振り返らせ、違いを学習シートに記述するように促す	エ 知識・理解 (改善保育ロールプレイング学習シート<学習6>の記述)

【本時の目標】 保育園訪問による乳幼児保育実習を通して、子どもへのよりよい接し方を表現させる

【本時の展開】

段階	学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・服装、つめの状態などの確認をする ・本時の保育園訪問の実習内容を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業習慣、保育園への移動の際の交通安全に留意させる ・園児や保育士へのあいさつをさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問保育実習名札シール
	<p>子どもの気持ちや行動を受けとめ、対応を考えながら、子どもと直接かかわる</p>		
展開 70分	<ul style="list-style-type: none"> ・各組の保育室に移動して、子どもとの遊びを中心とした保育を体験する ・園長講話 「子どもとのかかわり方」 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども(園児)の自発性を尊重しながら、遊びを進めていくことに留意させる ・園長講話、保育園実習の記録をさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもかかわり方メモブック
まとめ 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・帰校および実習のまとめ ・学習のまとめと課題の提出日を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもかかわり方メモブック、自己評価カードを記入させる ・学習課題の提出日を確認させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもかかわり方メモブック ・自己評価カード No. 2

【本時の評価】

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法(場面)
子どもの状況を確認しながら、子どもとかわることができる	子どもの気持ちや行動に合わせながら、子どもと適切にかかわることができる	子どもの気持ちや行動を確認しながら、子どもとかわることができる	子どもとの遊びに消極的な生徒には、個別に遊びへの参加を促す	ウ 技能・表現 (子どもとのかかわり方メモブックの記述)
子どもの状況に応じた対応の仕方の重要性を理解している	子どもの状況に応じた保育や社会的支援の在り方について具体的な考えをまとめている	子どもの状況に応じた保育や社会的支援の重要性を理解している	学習のまとめを記述できない生徒については、既習の学習シートを振り返らせて、まとめ方を助言したり、個別指導したりする	エ 知識・理解 (自己評価カード No. 2 学習のまとめの記述)

「乳幼児の発達と保育・福祉」自己評価カード NO. 1

年 組 番 氏名

評価基準 A：よくできた B：どちらかというときできた
C：どちらかというときできなかった D：全くできなかった

月日	学習内容	項目別自己評価	A	B	C	D	まとめと次回への課題	教師評価
	1・2時間目 子どもとの生活 ・保育ロールプレイ ・VTR 赤ちゃんの養護	セリフのアイデアを考えて、意見を出すことができたか						
		子どもとの生活の概要が把握できたか						
	3・4時間目 子どもの発達と個性 訪問保育実習	あいさつや作業習慣はできたか						
		子どもの発達や気持ちなど状況に応じた接し方を把握できたか						
	5時間目 子どもとのかかわり方 子どもケアプランの作成	子どもへの対応について、問題点を見つけることができたか						
		子どもへの対応について、改善策を考えることができたか						
	6時間目 子どもとのかかわり方 子どもケアプランの作成	課題解決のための情報を収集することができたか						
		改善策を考え、意見を出すことができたか						
	7時間目 子どもとのかかわり方 子どもケアプランの完成・提出	課題解決のために収集した情報を適切に活用することができたか						
		子どもの状況に応じた保育の在り方や社会的支援の利用について考えることができたか						
「子どもとのかかわり方」学習課題把握・追求段階の考察								
<div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>								
提出期限			月 日 () 時			教師の 評価		
本人の提出日			月 日 () 時					

注意：このカードは、授業の終わりに記入し、各クラスの家家庭クラブ委員に提出してください。

「乳幼児の発達と保育・福祉」自己評価カード NO. 2

年 組 番 氏名

評価基準 A：よくできた B：どちらかというときできた
 C：どちらかというときできなかった D：全くできなかった

月 日	学習内容	項目別自己評価	項目別自己評価				まとめと 次回への課題	教師 評価
			A	B	C	D		
	8時間目 子どもへのより よい対応の仕方 改善保育 ロールプレイング	子どもの立場に立った対応の仕方を考 えて、シナリオを工夫できたか						
		子どもやかかわる側の気持ちの違いに 気づき、子どもの状況を考えることの 大切さを理解できたか						
	9時間目 子どもへの よりよい接し方 改善保育 ロールプレイングの発表	発表は、セリフや表情に抑揚 <small>よくよく</small> を付けて 表現することができたか						
		他の班の発表から、子どもへの多様な 対応の仕方を理解できたか						
	10・11時間目 子どもへの よりよい接し方 訪問保育実習	あいさつや作業習慣はできたか						
		子どもの発達や気持ちなど状況を確認 しながら接することができたか						
	予備							

「子どもとのかかわり方」学習全体のまとめと感想

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

提出期限	月 日 () 時	教師の 評価	
本人の提出日	月 日 () 時		

注意：このカードは、授業の終わりに記入し、各クラスの家家庭クラブ委員に提出してください。

【資料9】 「乳幼児の発達と保育・福祉」の学習に関するアンケート〔事前・事後〕

1年 組 番 氏名 _____

このアンケートは、家庭科の学習についての理解の状況を調べるためのものです。それぞれの質問について、あなたの状況に近い答えを一つ選び、記号に をつけてください。また、記述を必要とする欄があるものには、質問文の説明のとおりに入力してください。（このアンケートは成績に全く関係ありません。）

「子ども」という言葉からイメージする言葉や文を思いつくだけ線で結んで表現してください。

【子どもに対する意識】

子ども

子どもの発達と保育・福祉の学習について次の質問に答えてください。

【学習に対する興味・関心】

- 1 子どものからだやこころの発達に関する学習に興味や関心がありますか。
ア ある イ どちらかというところある ウ どちらかというところない エ ない
- 2 子どもの遊びの意味や育て方に関する学習に興味や関心がありますか。
ア ある イ どちらかというところある ウ どちらかというところない エ ない
- 3 子どもがいる家庭への公的援助やサービスなど福祉に関する学習に興味や関心がありますか。
ア ある イ どちらかというところある ウ どちらかというところない エ ない

保育の在り方や社会的支援の利用に関する内容について次の質問に答えてください。

【子どもへの対応の仕方の理解】

- 1 子どもの心身の発達には一定のめやすと個人差があることがわかりますか。
ア わかる イ どちらかというところわかる ウ どちらかというところわからない エ わからない
- 2 子どもにとっての遊びは、心身の発達に関係することがわかりますか。
ア わかる イ どちらかというところわかる ウ どちらかというところわからない エ わからない
- 3 子どもがいる家庭を援助する保育施設や子育て支援などの利用の仕方がわかりますか。
ア わかる イ どちらかというところわかる ウ どちらかというところわからない エ わからない
- 4 子どもが泣いたり、だだをこねたりするなど感情表現の意味を考えることができますか。
ア できる イ どちらかというところできる ウ どちらかというところできない エ できない
- 5 子どもの状況に合わせた対応の仕方を考えることができますか。
ア できる イ どちらかというところできる ウ どちらかというところできない エ できない

家庭や社会生活での子どもとかかわることについて次の質問に教えてください。

【生活での実践意欲】

- 1 幼い弟妹や親せきの甥姪など身近に子どもと接する機会には、自分から進んで遊んだり、世話をしたりしようと思いますか。
ア そう思う イ どちらかというと思う ウ どちらかというと思わない エ そう思わない
- 2 子どもが泣いたり困ったりしている状況を見かけたら、自分から進んで声がけをしてみようと思いますか。
ア そう思う イ どちらかというと思う ウ どちらかというと思わない エ そう思わない

* ここからは、学習の事後のみ記入してください。

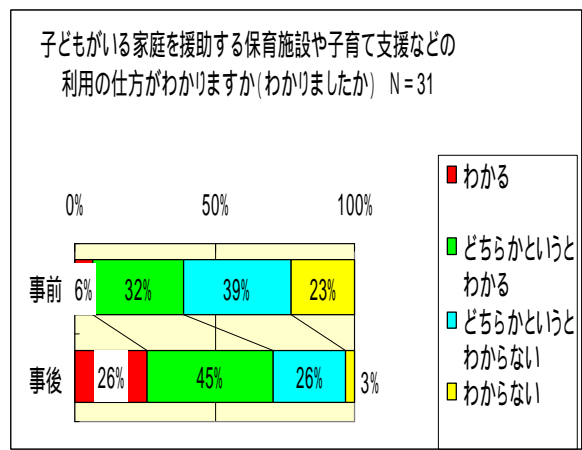
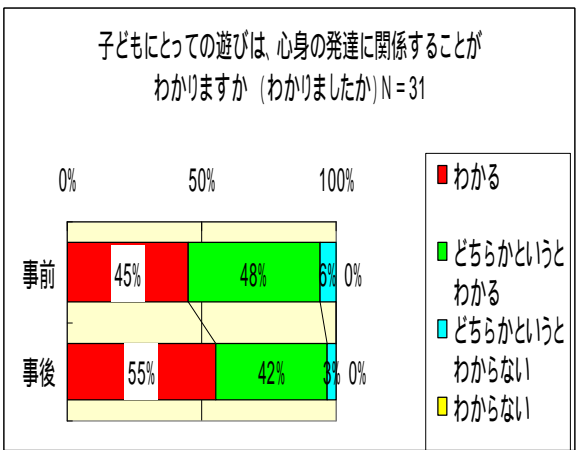
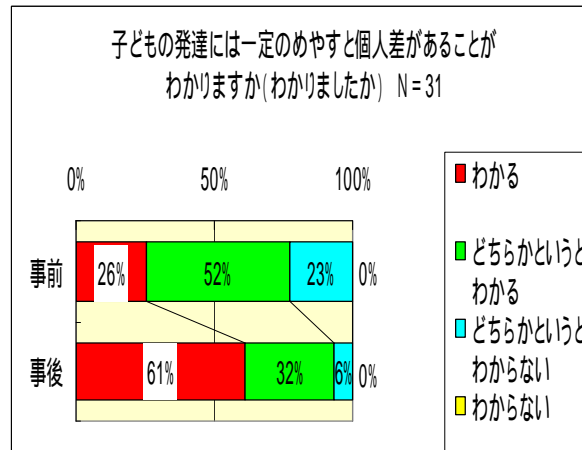
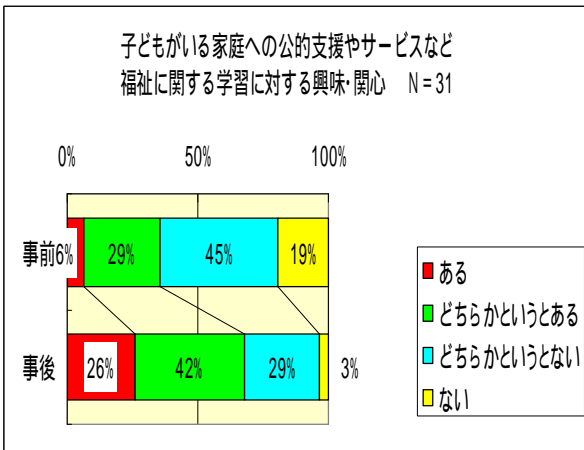
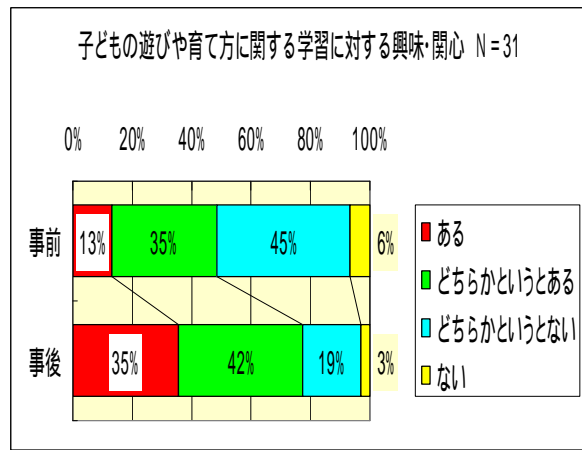
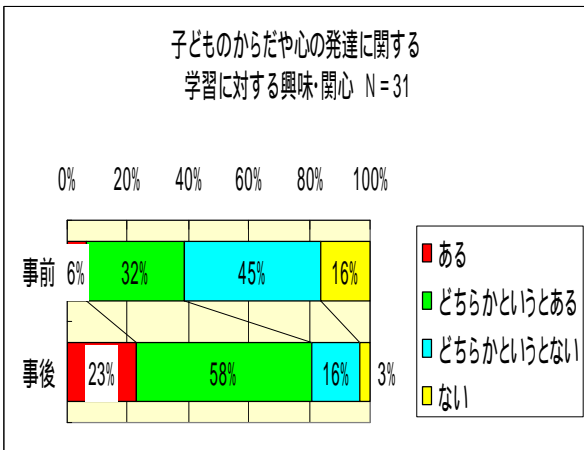
授業で使用した教材について、次の質問に教えてください。

【教材の有用性】

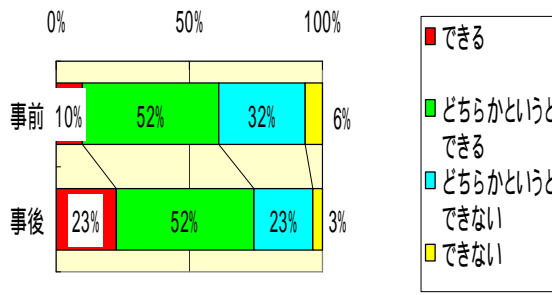
- 1 子どもとのかかわり方学習教材セットを使用した学習はわかりやすかったと思いますか。
ア そう思う イ どちらかというと思う ウ どちらかというと思わない エ そう思わない
- 2 実際の家庭や社会生活の場面カードは、子どもとの生活を把握する学習で役に立ちましたか。
ア 役に立った イ 少し役に立った ウ あまり役に立たなかった エ 役に立たなかった
- 3 保育ロールプレイングシナリオ作成シート、改善保育ロールプレイング学習シートは、子どもとのよりよいかかわり方を考え表現する学習で役に立ちましたか。
ア 役に立った イ 少し役に立った ウ あまり役に立たなかった エ 役に立たなかった
- 4 子どもとのかかわり方メモブック、保育実習名札シールは、子どもとの接し方を把握したり、交流を深めたりする訪問保育園実習で役に立ちましたか。
ア 役に立った イ 少し役に立った ウ あまり役に立たなかった エ 役に立たなかった
- 5 子どもケアプラン学習シート、視聴覚学習シートは、自分の意見を述べたり、考えをまとめたりする学習で役に立ちましたか。
ア 役に立った イ 少し役に立った ウ あまり役に立たなかった エ 役に立たなかった
- 6 子育て支援リンク集、子どもケアプラン評価シートは、子どもの状況に応じた対応の仕方についてグループで調べたり、まとめたりする学習で役に立ちましたか。
ア 役に立った イ 少し役に立った ウ あまり役に立たなかった エ 役に立たなかった

協力ありがとうございました

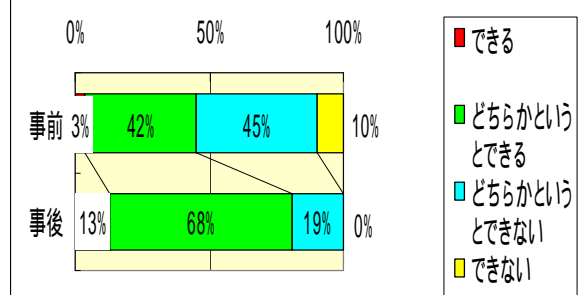
【資料10】事前・事後のアンケート集計結果



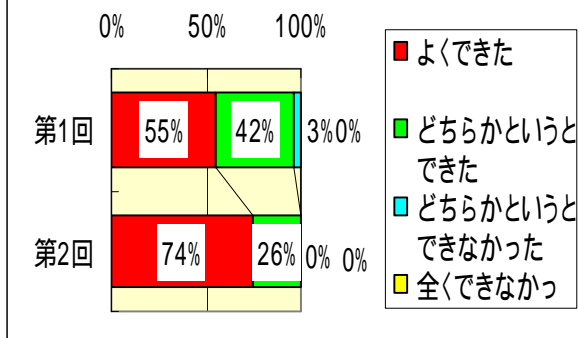
子どもが泣いたり、だだをこねたりするなど感情表現の意味を考えることができますか(できましたか) N=31



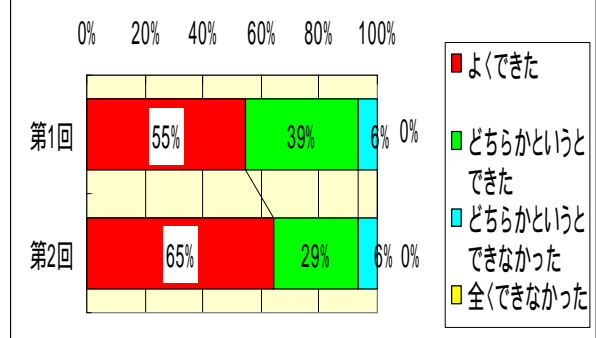
子どもの状況に合わせた対応の仕方を考えることができますか(できましたか) N=31



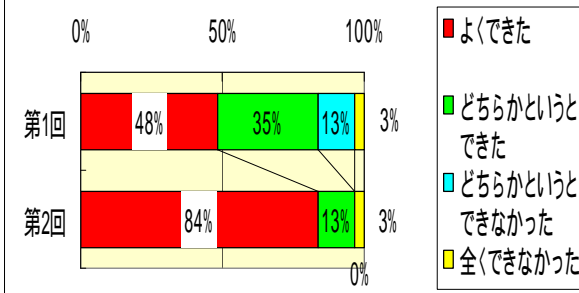
子どもに笑顔で接することができましたか【表情】 N=31



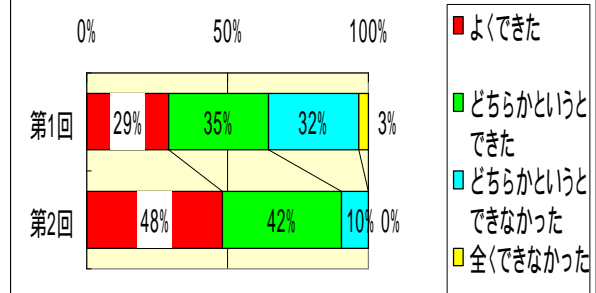
子どもの目線に合わせた姿勢をとることができましたか【行動】 N=31

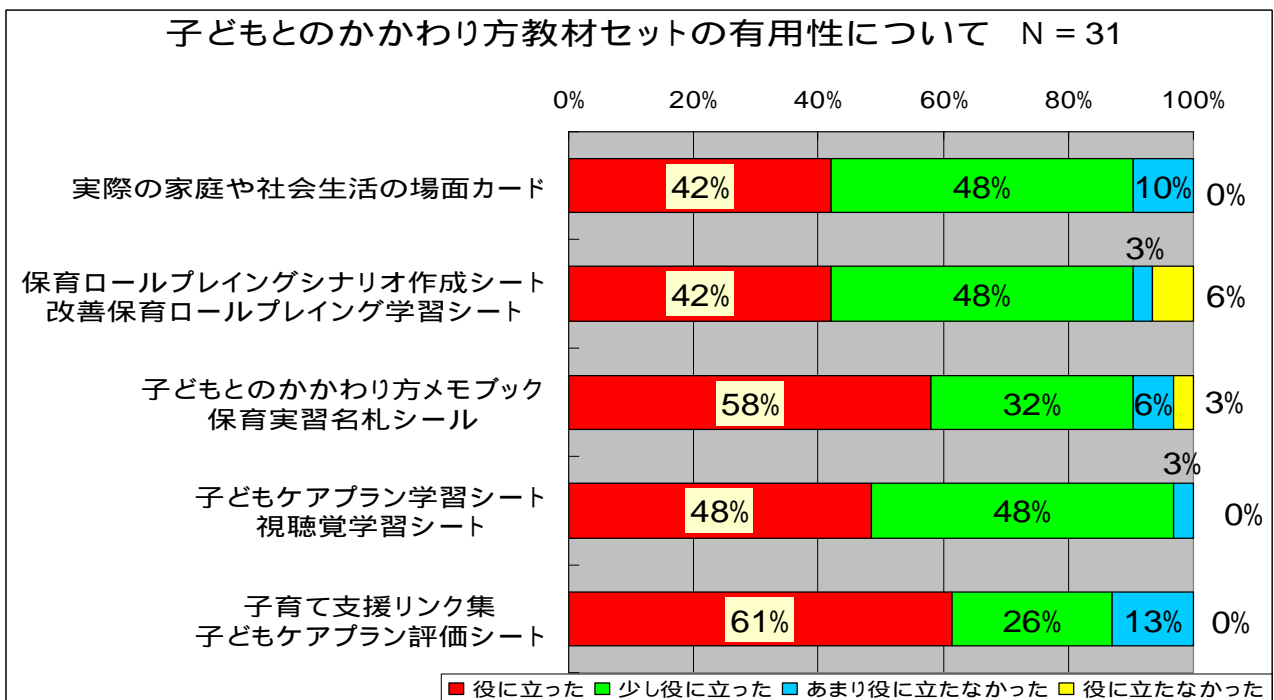
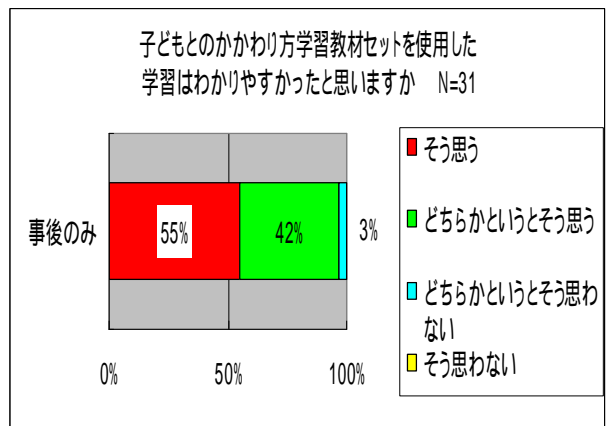
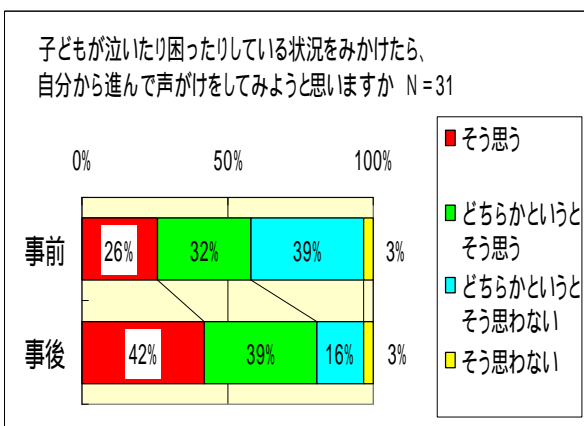
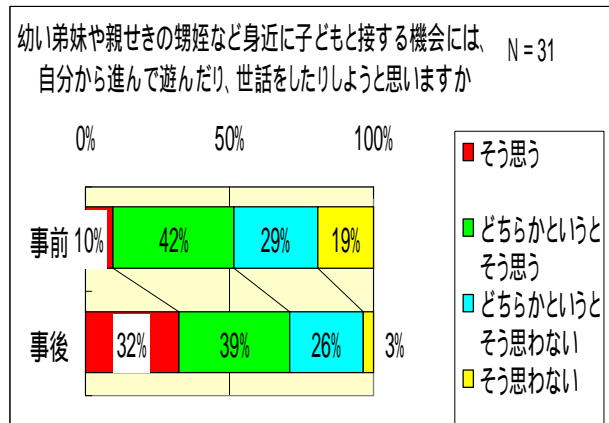
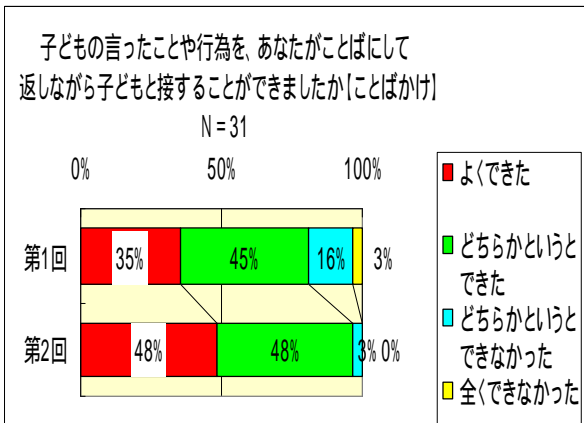


子どもと手をつないだり、抱っこやおんぶをしたりすることができましたか【行動】 N=31



子どものことばや話を、うなづきながら注意深く聞くことができましたか【ことばかけ】 N=31





[資料11] 子どもとのかかわり方学習教材セットを活用した学習における生徒の記述の状況 N = 31

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
1	泣き方や声の大きさを欲求を伝える	子どもの雰囲気、泣き方を考えていきたい			最初の保育実習では何をしたらいいのか、子どもとどのように接したらいいのかなどわからないことばかりでした。学習が進むにつれて、戸惑いも少しずつなくなっていき、子どもとちゃんと遊べたり、食事も手伝えたので良かったと思いました。	保育を実際に手伝えることができ良かったですね。日常の人との接し方に生かしてください。	この経験をきちんと生かしていきたく思ったし、もっともっと勉強しないと子どもとの接し方が大変なことになるなあと思いました	将来の自身の保育像
2	楽しく子どもと触れ合えた	意見を出し合い、まとめることもできたので充実した授業になった				学習活動の記述表現ができていく生徒と見受けられたが、第2回の訪問保育実習では、女児をなくさめたり、励ましたりして、鉄棒ができるように支援した生徒である。鉄棒に対して、女児のやってみたい気持ちと不安な気持ちに寄り添い、支援する姿が見られた。		
3	子どもは何でもやりたがる、見たがる	危ないことは危ないと怒り、子どもの気持ちを考えながら話す	近所の母親と会話して互いに子どもの育て方を学ぶのがいい	社会的支援の利用 将来の自身の保育像	初めの頃と比べると子どもと普段どおり話せるようになりました。多分子どもの気持ちがわかったからだと思います。子どもといっぱい遊んで幼稚園の時の自分を思い出して、向こうから話しかけるとすごく嬉しくなることがわかりました。	そうですね。とてもいいことを思い出しましたね。これからの人とかかわり方に生かしてください。		
4	訪問保育実習では直接子どもと触れ合ったが、考えていたよりもうまいかなかった	相手の気持ちになって考えることができた。子どもにどのように接すればいいのかがあった				小さな命を育てるということを大事な仕事と受けとめ、協力して保育を行い、みんなで子どもとのかかわりを楽しんだり、喜びを得たりしていきたいものですね。	この学習を始める前は、子どもが嫌いだっだけれど、保育園に行って少し好きになりました。これからもこういう機会があったら参加したいです。	将来の自身の保育像
5	子どもの状況に応じて泣き方を変えている(違っていい)	赤ちゃんや幼い子との接し方についていろいろわかった	10才下の妹がいるので世話をしたことがあるが、泣き方の違いには気がつかなかった。学習の成果を発揮できるように頑張っていきたい	家族の協力	子どもは泣いたり、騒いだり自己中心的なところもあるけど、素直でいいもんだなあと思った。	そうですね、ありのままの子どもの姿を理解し、大変な中にも、良さをみつけることができて良かったですね。	たくさんの子どもたちと接することはないので貴重な体験ができてよかった。これからも小さな子どもと接するようなことがあったら、今回の体験学習を生かしていきたい。	将来の自身の保育像

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
6	子どもは小さくても意志があるので、自分の考えをおしつけられない	子どもの意志を尊重して子育てすることが大切	子育て支援は利用すべきだと思う。自分の家に最も近くて行きやすい所を利用すればよい。子育ての不安はためずに、身近なところで相談すべきだと思う	家族の協力、社会的支援の利用	個人にはそれぞれの意志があり、強制することはできないということをこの授業を通してわかった。実際の保育実習を通して、子どもがその時、何を考えているのか、何をしたいのかが少し理解できたと思う。また、場面に応じた考えられる危険や対応の仕方学べたと思う。	生活するという事は、こういうことの繰り返しによってよりよい過ごし方や対人関係が築かれるのだと思います。		
7	子どもと接して、言葉がないというのは大変だということがわかった	7時間の学習して子どもについての考え方や接し方についてわかったような気がする	子どもの時期は、しっかり躰をして、子どもの将来のためについても考えて育てるのがいいと思った 悩みや不安があるときは、自分でかかえこまないで相談することも大切	将来の自身の保育像 社会的支援の利用	未満児のクラスで保育実習を行ったが、一番大変だったのは言葉が通じないことが多いので、しっかり子どもの気持ちを理解してあげる力が必要だと思いました。	とてもいいことに気がつきました。何事も任せっきりは良くないですね。	父としての在り方は、以前は任せっきりでも大丈夫だと思っていたが、出産前などはストレスをためると子に影響が出るので、父としてカバーしていきたいです。	将来の自身の保育像
8	実際に子どもと接してみ、自分も昔は…と思いました	子どもの気持ちを考えて、その子どもに合ったかかわりをしていきたい	子育て支援リンク集では、しつけや育児のこと等沢山知れて、これからの自分に役立てていき、次の訪問保育実習に役立てたい	将来の自身の保育像	実際に保育園に行き、子どもと接して、子どもの個性に合わせて接する、視線を合わせて接するなどいい経験になった。子どもの気持ちをよむことは、難しいことだと思いました。	学習での体験を、ぜひ日常の人とのかかわりに生かしてください。とてもよくとめられています。	今後や将来に子どもとの接し方を役立てたいと思いました。ロールプレイングでは、父母との会話を考えたことで気持ちが良くなったので、仕事・家事・子育ての両立は大変なことだと思いました。	将来の自身の保育像 自分を育てた父母の立場の理解
9	訪問保育実習では、子どもとのかかわり方の大変さや難しさがわかりました	子どもは小さくても力も弱いので、接し方には十分に気をつけて生きたいです	今後の生活の上で今まで学んだことが生かせるような生活をしていきたいと思いました。保育事業施設についての知識が不十分なのでこれから学んでいきたいと思えます	社会的支援の利用	命を預かることで、自分に責任感が芽生えたのです。すごい！！きつと、子どもも安心して自分を任せ、お散歩が無事にできたのでしょ。良かったですね。	2度の保育実習で命の大切さ、大人の責任の重さをとても強く感じました。特に2度目の散歩で強く感じました。ケガや大変なことになった場合、責任をとるのは、自分になり、子どもだけでなく、子どもの親にも迷惑をかけてしまうし、もしも、命を奪うことになったら大問題なので、実習や実習後の子どもへの接し方にも、自分の中で違いが出てきました。		
10	子どもは強く言って、言い聞かせようとしてもきかなかつたり、泣いてしまったりするので、優しく話しかけることで素直に聞いてくれることがあるということがわかった(調べたり、保育士の行動をみたりすることによって)		子どものころの躰は大人になってからも影響する大切なものなので気をつけて行う必要があると思った	将来の自身の保育像	子どもというのは、とても感情の変化などが大きく、安定していないので、周りもしっかり見守ってあげる必要があると思う。	そうですね、人は様々な人とのかかわり方によって良くも悪くも影響するものです。子どもとのかかわり方について学んだことを日常の人とのかかわり方に生かしてください。	自分が子どもだったころには、あまり気付かなかったが、周りの大人たちは子どもにとっても気を使って接しているということが分かった。自分が将来子どもを育てる機会があったら、今回の学習で学んだことを生かして、こどもにとっていいしつけをできるようにしたいと思う。	自分を育てた父母の立場の理解 将来の自身の保育像

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
11	保育園では子どもと楽しく触れ合うことができたし、仲良くなれて良かった	子どもはまだ自分を抑制できなくて、すぐ行動に移してしまうし、相手のことを考えずに行動するのでその対応の仕方がわかった			この授業を通して本当に沢山のことを学ぶことができました。例えば、改善保育ロールプレイングでは子どもの発達段階ごとの、子と親の心情がわかったし、こういうことが起こるんだらうなあと思いました。	子どもの欲求に応えてあげたのですね。人に安心感を与えるということは、とてもいいことなんですよ。	保育園に行ったことで、改めて、子どもがどういものかわかったし、一人抱っこしてあげるとみんな「抱っこして」と言ってくる等いろいろなお話が学べました	
12	実際に保育所に行ったときは子どもたちと楽しく遊ぶことができた。次いく時も仲良くなれるように頑張りたい	子どもについているいろいろなことを調べてみてわかった	虐待のことも少し調べてみたいと思った。	社会的支援の利用	子どもとのかかわり方の学習を今までやってきて、子どもに関する知識が全然ないことを感じた。しかし、この学習のおかげで、いろんなことを知れた。例えば子どもが泣くのは理由があることなどです。保育園にも実際に行けてとてもいい体験になった。	そうですね、とても大切なことを考えることができましたね。日常生活の人のかわり方にもぜひ役立ててください。	園長先生の話のにあった「命」ということ。これを大切にしていきたいと思った。自分の「命」を大切にしたいし、相手の「命」も大切にしていきたいと考えます。	将来の自身の保育像
13	訪問保育実習では、子どもたちが何を言っているのかがわからないところもあったが、それを理解していた保育士たちがすごかった	7時間の子どものかかわり方の学習で子どもの気持ちを考えることや子育てで親がかかえる問題点を考えることができた			2回目の保育実習は、子どもたちがとてもなついてくれた。だから、こちらもそれに応えているような質問に答えたり、遊んであげたりできた。	そうですね、頼りにされるとても嬉しいですよ。	身近なことで子どもたちから教えてもらったことも結構あった。最後に主任保育士の方が子どもたちがとても喜んでいて、自分たちを信頼してくれたと言ってくれたので、嬉しかった。	
14	訪問保育実習をやってみて園児と触れ合うことが難しかった	子どもの気持ちになって、何がしたいかを理解し行動するようにした方がいいと思いました。叱るときは叱る、ほめるときはほめるということをちゃんとやれば子どもの成長にもよりよくなかかわってくると思いました	子どもと積極的に明るく元気に触れ合うことで保育の難しさを解消できると思う。	将来の自身の保育像	最初子どもとの接し方や話し方がわからなかったが、この授業を通して分かったような気がします。2回目の保育実習では沢山の子どもと笑ったり、遊んだりすることができ、ちゃんと接することができました。また、ロールプレイングをやってみて、子どもが何をやりたいのかを考えるのが難しかったがちゃんとできたのでよかったです。他の班の人もしっかりと考えて発表していたのでとても勉強になりました。とてもいい授業だったと思います。	ありがとうございます。皆さんも頑張ってくれました。発表会は、とても感動しましたね。みんなこの時間を共有できてよかったです。		
15	子どもと接する上での注意点の多さや子どもの成長の早さなどにはとても驚かされた。子どもと接する時は目を合わせて話すように気をつけました		僕に将来子どもができた時は、子育て支援を利用していきたいと思います	将来の自身の保育像	しっかりと保育実習ができた。今までは子どもについて知らないことがあったが、今回のことで多くのことを知ることができて、とても勉強になったと思います。	さんが最初にすごくなつかれた男の子は、普段はお友だちとあまりあそべないのだそうです。とても信頼していましたよ。子どもが好きになってくれて私も嬉しいです。	(2回目の訪問保育実習の園長講話で「子どもが好きになった人？」の問いに真っ先に手をあげた生徒である)	

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
16	実際に子どもと触れ合ってみて、接し方などが難しいと思った	子どものことについて、いろいろなることを調べて、わかったことがたくさんあった。子どもの気持ちなどを考えることができた			ロールプレイングの発表では、実際に作ったシナリオを発表したり、他の班の発表を聞いたりして、父は母と協力して子育てをするというシナリオが多かった。11時間を通して、子どものことについて深く考えることができたのでよかった。	そうですね、協力的な父親像には、好感が持てますね。	これから、この経験を生かしていきたい。	将来の自身の保育像
17	子どもへの接し方は、コミュニケーションを取る上でかなり重要だということが分かった。親や身近にいる人の子どもへの接し方は大きな影響力を持っていると思った	子どもはかなり苦手で今もお変わらないが、以前よりはましになった	将来、結婚したら絶対に子どもの前で奥さんとケンカだけはしないようにしようと思いました。		子どもが苦手だと言って、初めは嫌々だったが、結構楽しめたし、子どもと接することができてよかったと思う。	前向きでとてもいいまとめになっています。個人的に遊びに行ってもいいのですよ、園長先生、主任保育士さんも話していましたよ。	子どもの親に対する気持ち、親の子どもに対する気持ち、いろいろあるものだとしみじみ思った。もしも、機会があったら、もう少し遊ぶ内容を考えたい。	自分を育てた父母の立場の理解 将来の自身の保育像
18	子どもとの触れ合いから保育の在り方までを学習してみて、乳児期はとてもものごとくに敏感で泣いたりするのかなと思いました	赤ちゃんは泣く事でしか表現できないので、大人は今赤ちゃんが何をしたいのか何を求めているのかをわかってあげなければいけないのだと思った	お母さんは、子どもを育てるのはとても大変なんだなと感じました	父母の自分を育てた立場への理解	子どもとここまでかかわったのは初めてでした。少しでも、子どもの目線で物事を考えて2回とも楽しく遊んであげることができました。子どもはとても敏感で、物事をどうにかして伝えようとしているのだと思いました。子どもとのかかわり方をしっかり学習することができてよかったです。	そうですね、他者理解がしっかりとできたようですね。日常の家族、友だちとのかかわり方に生かしてください。	ロールプレイングでは、母や父や周りの人など場面に合わせてセリフを考え、子どもだけでなく母や父の気持ちもわかることができました。	将来の自身の保育像 自分を育てた父母の立場の理解
19	幼い子どもは自分の意志を貫き通すので、多くの子どもと遊んだりするときは、すべての子どもに目を向けなければならず、今の自分ではできませんでした		子どもとかがわって親の大変さが本当に分かりました。虐待によって死んでいく子どももいるので、それを防止するために、悩みを聞いてあげる機関をもっと作るべきだと思います。	自分を育てた親の立場の理解 現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	自閉症の子や健常な子と接するのは、とても体力が必要で、大変だと思いました。また、この学習で「子どもはかわいいな」と改めて実感することができました。	子どもの良さや育てる側の大変さを知っているのといないのとでは、子どもとのかかわり方が大きく違ってくると思います。きっと役に立ちますよ。	自分もいつかは父親になる時がくると思います。そのときにここで学習・体験したことを大切にしていきたいです。	将来の自身の保育像
20	赤ちゃんを育てることは思っているより大変なことで、実際に保育園に行ってみて、なかなか言うことを聞いてくれなかったのが大変さがわかりました。子どもが自分に何を求めているのか最初がよくわからなかったけど、子どもと接しているうちにわかるようになりました				この保育の授業を経験して分かったことや思ったことは、実際に自分が子どもを育てるときの知識が無かったということがわかりました。保育園に行ってみて、学んだことは、子どもが自分の行動をすぐにマネするということです。	そうですね、真似されるからこそお手本を示したり、間違っただけ、感情的にならなくても、あとで態度を改めるということが大切なのです。とてもいいことに気がついてますよ。	改善保育ロールプレイングでは、親と子の気持ちの違いを学んだ。発表では、実際にセリフを声に出して言うことで、子や母などの気持ちがわかった。	自分を育てた父母の立場の理解

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
21	子育てはとても労力を使うし、決して楽ではないことがわかりました	子どもとの接し方に戸惑ったけど、大分子どもの気持ちなどを理解できるようになりました	子育て支援の利用は、預けてばかりだと子どもとの時間がなくなってしまい、悲しい思いをさせてしまうので子どもとの時間も大切にしていきたいと思います	将来の自身の保育像	11時間の授業を通して、いろいろ子どもについて学ぶことができた。実際の子どもの触れ合いでは、子どもはカワイイと思いました。素直な子どもが多かった気がします。ロールプレイングでは、とても緊張したけど他の班の発表も聞くことができ、学ぶことが多かったように思います。	他の人の意見や考えを聞くことは、とてもためになりますよ。相手のことを考えることのよさは、このことにもあるのかもしれない。	子どものかかわりは、将来にもかかわってくることなので、学んだことを生かしていきたい	将来の自身の保育像
22	子どもと接することによって、今までどうしたらよいかわからなかったことがすべて解消できてよかった		これからの子育ては家中だけでなく地域全体でしていかなければならない。	現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	子どもとかかわって感じたことは、小さいながらも必死になって言葉を発していきいと思えました。	そうですね、困ったことや大変なことはみんなで助け合うことは、満足感や喜びも共感することもできますよね。	これからの私たちの課題は、今生きている子どもたちを立派に育てていかなければならないということです。なので、これからは、地域や子育て支援施設などの利用を充実させていきたいです。	将来の自身の保育像 現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
23	最初に保育園に行ったときは、ほとんど何も学習していないままだったので、上手く接することはできなかったが今度行くときはちゃんとできると思う	困ったときなどは、子育て支援の利用をして、相談などをすれば解決できることもある		社会的支援の利用	訪問保育実習では、仲良くなれた子がいたということが大きかったと思います。自分での子どもが好きというのを分かったし、親になっても大丈夫だとも思いました。しかし、計画的に子どもはつくっていきたいです。	そうですね、自分の夢をある程度実現し、生活の基盤を築いた上で、子育てを楽しむというのが理想ですね。	今回の学習で子どものことを考えてみて、どのようなケースがあって、どう対応すればよいか考えることができたのは、自分が大人となり、子どもができたときに役立つことだと思えました。もし、こういう機会がなければ考えることができないまま親となってしまっていたので、今回の機会を大切にこれから暮らしていきたいです。	将来の自身の保育像
24	今の自分たちには考えられない行動を平気ととってしまうのが子どもだと思います	親の接し方について考えてみたけど、子どもに対してのしつけがとても大変だと思いました			11時間という長い時間に保育・福祉、そして保育園訪問など学習してみて、子どもの接し方について色々学んだことがあった。子どもがだだをこねているときの対処法などを教えてもらってとてもためになりました。いろいろな体験ができて、とても良い時間になりました。	今の生活では、ないことでも現実起こっていることを場面設定しましたので、いろいろと考える機会になってよかったですね。	ロールプレイングでは、日常の生活では全く考えないことだったので、考えるのがとても大変だった。	将来の自身の保育像
25		学習する前は、子どもにいい接し方ができなかったが、今なら多分子どもの立場に立ってどうして欲しいかを考えて行動できると思う	社会的支援としては、保健センターや施設のことを日頃から良く知っておいて、いざというときに使えるようにしておきたい	将来の自身の保育像 社会的支援の利用	子どもへのかかわり方を学習するまで、あやふやでわかっていなかったところが、この学習を通して大体理解することができたと思います。うまく言えませんが、実際に保育園に行って、つかめたことがいっぱいあります。		この学習で学んだことを忘れないようにしたいと思います。	将来の自身の保育像

生徒	課題把握・追求段階の学習の考察		実生活や将来における実践意欲		課題改善段階の学習のまとめ		実生活や将来における実践意欲	
	受容的かかわりの記述	共感的かかわりの記述	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	応答的かかわりの記述	教師のコメント(記述)	実生活や将来における実践意欲の記述	キーワード ・実生活での実践意欲 ・家族の協力・自分を育てた親の立場の理解 ・将来の自身の保育像 ・社会的支援の利用 ・現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案
26	保育園に実際に行き、子どもたちと触れ合うことで、子どもを知ることができたと思う	班内での活動に不参加だった面があり、反省する点もあった			保育園に行って、実際に子どもと触れ合うことで、子どもたち側の気持ちを理解できたと思う。しかし、それは保育園内だけのことで、家での子どもの様子を考えると、また、別の気持ちなのだと思った。そのために、2回の保育実習の間の学習を通して、子どもの気持ちを理解しようと頑張った。	そうですね。自己実現を図りながら、家庭をつくっていくことは大切なことですね。学習で気付いたこと、学んだことを、日常の人のかかわりに生かしてください。	子どもたちへの接し方も理解できたので、これを将来に生かしたいと思います。僕は子どもが好きだし、子どもをもちたいと思います。でも将来は、計画的に子どもをつくりたいです。	将来の自身の保育像
27	子どもとのかかわり方はとても難しいことだと思ったり、家族でも何気なくしていても様々な問題があると思った	親は子どものことを考えてあげ、悩んだときは相談したほうがよい			ロールプレイングをしてみて、色々な立場があった。前よりも子どもと多く接することができてよかった。			
28	子どもとかかわるといことは、とても難しいことだし、責任が必要なことだということがわかった	子どもの気持ちを理解するには、子どもをよく観察することが必要だということもわかったので、次保育園に行くときは良く見てみたいと思う	子どもの教育について悩みが生じた時は、インターネットで調べてみたり、電話で相談したりするのの一つの手段だということがわかった	社会的支援の利用	保育園は本当に疲れたが、たくさん学ぶことがあった。子どもの目の高さに合わせて話すこと、子どもの気持ちを理解してあげることだ。特に大変だったのは子どもの気持ちを考えて話したり、遊んだりすることだ。教科書を読んだで勉強するよりも具体的だし、現実的な感じがしているいろいろなことを考えさせられた。	そうですね。心に深く残る学習になって私も嬉しいです。子どもとかかわり方で学んだことを日常の人のかかわり方に生かしてください。	自分が子どもを育てることになったとき、今回の学習を思い出して生かしたい。保育園からの帰り道でも友だちと母親になったらか…とは話したりしたこともあった。	将来の自身の保育像
29	保育園にも実際に訪問し、子どもの難しさなどを考えることができた。また、とても楽しむこともできたと思う	子どもケアプラン作成では、自分の考えを話すことができたし、子どもに迫る危険への解決策も見つかることができ、とてもよかったと思う	世の中の親たちは、もっと子育てを学び、子どもを考えるべきだ。	現代の保育や社会的支援の在り方に対する提案	大変なことが多くて、嫌になることもいっぱいあったが、いろんなことを学べて良かった。	弟さんへの接し方を工夫してみてください。楽しくかわりを持ってたり、成長を促したりできると思います。そうすることで、さん自身もよりよく成長していけると思います。	これから、親になると思うがそのときまでこの知識を頭の中に大事にしまっておこうと思う。自分には小学1年生の弟がいるし、知っている小さい子どももたくさんいるので、触れ合いながら、さらに深く知っていききたいと思う。	将来の自身の保育像
30	子育てというものは、楽しいことよりも心配事や不安、子どもに対するストレスの方が多いかも思えないことが分かりました	子ども、特に赤ちゃんは自分の体調不良や状態を泣いて伝えるしかできないので、泣き方を観察して、何で泣いているか、何を求めているかを知っていれば、イライラすることもなく虐待が出ることもなくなると思う	自分ももしかしたら将来子どもの親になるかもしれないので、この学習を覚えておきたいです。	将来の自身の保育像	子どもへの対応の仕方と遊び方がわかった。前回の保育実習より、積極的に子どもと接することができた。	子どもが身近にいないくても、家族や友だち、先生など相手の気持ちを考えて節したり、ことばを交わしたりということで、生かせると思います。考え方を広く持つことは、自分の視野を広げることにつながります	しかし、全体を通して今の自分に役立つようなものがなく、将来の話や、将来の自分に役立つものしかなかった。感じたことも特になかったが、覚えておこうと思う。	将来の自身の保育像

31	保育園に行って子どもはどんなことをしているのが楽しいのか、つならないのがわかりました	子育て支援リンク集で、子どものかかわり方の詳しい所まで調べてわかりました。	保育ロールプレイングでは、子どもの気持ちや母の大変さ、父の威厳のことがよくわかりました	自分を育てた親の立場の理解 家族の協力、社会的支援の利用	訪問保育実習では、初めて行ったときは緊張して子どもと接するのを拒んでいたけど、後半や2回目の実習では子どもたちと沢山遊んだり、字を書いたり、お話ししたりすることができてとても良かったです。ロールプレイングでは、班員みんなで協力して話し合いや作業をすることができた。発表では、他の班のシナリオでの自分たちには無い良いところがたくさん見られたのでとてもよい発表会でした。	そうですね、何事も相手のいいところをみつけて、お互いに認め合うと気持ちよく過ごすことができますね。	子育て支援リンク集での調べ学習では、子どものかかわり方のありとあらゆることまで調べることができて、将来のためになりました。	将来の自身の保育像
----	--	---------------------------------------	---	---------------------------------	---	---	---	-----------